

日本社会心理学会第50回大会
日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会
合同大会 プログラム

2009年10月10日(土)・11日(日)・12日(月・祝)

大 阪 大 学

会場案内

■ 大会会場への交通案内

大会会場：大阪大学吹田キャンパス（右ページの地図参照）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

TEL 090-9142-5593（この電話番号は大会当日のみ有効です）

電車・モノレール

①JR「新大阪駅」及び梅田方面より

大阪市営地下鉄御堂筋線 乗り入れ北大阪急行電鉄「千里中央駅」経由
→大阪モノレール「阪大病院前駅」下車、コンベンションセンター(受付)まで
徒歩約 10 分

②京都方面より

阪急電鉄京都線「南茨木駅」
→大阪モノレール「阪大病院前駅」下車、コンベンションセンター(受付)まで
徒歩約 10 分

③大阪国際空港（伊丹空港）より

大阪モノレール「大阪空港駅」
→大阪モノレール「阪大病院前駅」下車、コンベンションセンター(受付)まで
徒歩約 10 分

④関西国際空港より

JR 西日本関西空港線 特急はるか「関西空港駅」
→JR「新大阪駅」下車（ここまで所要時間 50 分）
→以降の経路は①と同様

バス

⑤地下鉄御堂筋線（北大阪急行）「千里中央駅」より

阪急バス「千里中央」⑥乗場より
「阪大本部前行」[164][171] 「茨木美穂ヶ丘行」 [103][105]
→「阪大本部前」下車、所要時間 15 分～20 分

⑥「阪急茨木市駅」・「JR 茨木駅」より

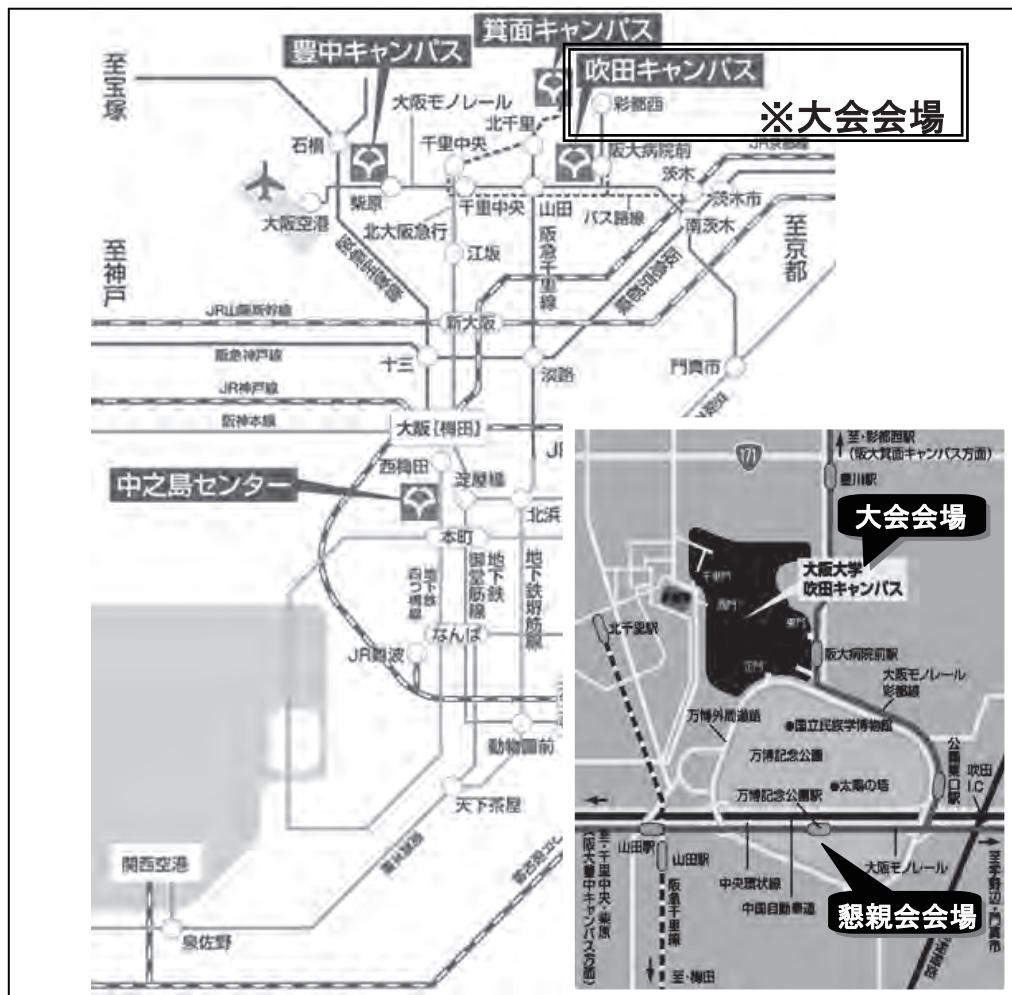
- A. 近鉄バス「阪急茨木市駅」④乗場より「阪大本部前行」[24][25] (JR 茨木駅経由)
(大会 1 日目 (土曜日) のみ、8:41 発までは②乗場／8:54 発からは④乗場)
→「阪大本部前」下車、所要時間 30 分～40 分
- B. 近鉄バス「JR 茨木駅」④乗場より「阪大本部前行」[24][25]
(大会 1 日目 (土曜日) のみ、8:47 発までは②乗場／9:00 発からは④乗場)
→「阪大本部前」下車、所要時間 20 分～25 分

タクシー

⑦阪急電鉄「北千里駅」より 所要時間約 10 分、約 1,000 円 (徒歩の場合 約 30 分)

⑧地下鉄御堂筋線（北大阪急行）「千里中央駅」より 所要時間約 20 分、約 2,000 円

⑨JR「茨木駅」より 所要時間約 15 分、約 1,400 円



■ 懇親会会場への交通案内

場所：ホテル阪急エキスポパーク オービットホール（上の地図参照）
〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 1-5

大会会場からのアクセス

会場から直通の無料送迎バスを用意しております（コンベンションセンター前発車）。
その他、以下の移動方法もございます

大阪モノレール（阪大病院前駅→万博記念公園駅→懇親会会場、所要時間約 10 分）

タクシー（阪大病院の玄関前→懇親会会場、所要時間約 10 分、約 1,000 円）

※ なお、会場から阪大病院前駅/阪大病院の玄関前まで徒歩約 10 分

他の場所からのアクセス

モノレールをご利用の場合

大阪モノレール「万博記念公園駅」下車 徒歩 5 分

バスをご利用の場合

地下鉄御堂筋線（北大阪急行）「千里中央駅」、阪急「茨木市駅」、JR「茨木駅」各駅より「ホテル阪急エキspoパーク前」下車

会場案内



■ 吹田キャンパス内の案内

①コンベンションセンター（受付）

受付, 総会, シンポジウム, 特別講演, ワークショップ,
口頭発表(ショート), 大会本部

②体育館

ポスター発表, 展示, 書籍販売, クローク, 休憩所

③人間科学部・東館

講演, 自主シンポジウム, ワークショップ,
口頭発表(ロング・English・ショート), 託児室

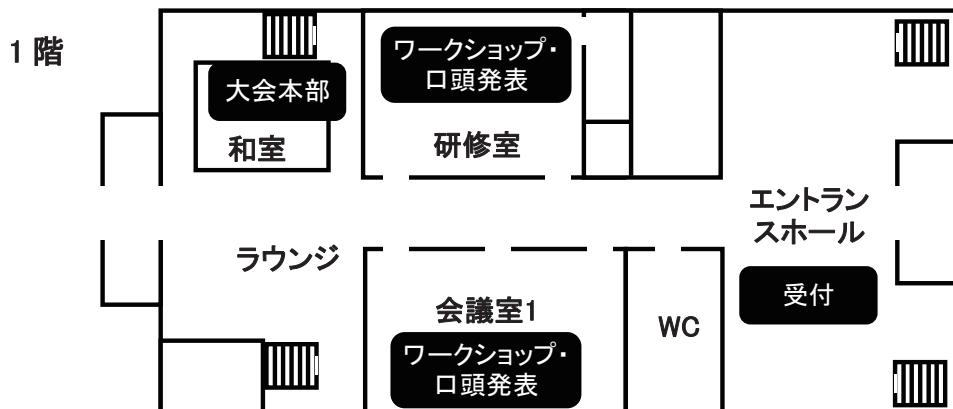
◆会場施設案内

- ・受付 コンベンションセンター1階 エントランスホール
- ・総会 コンベンションセンター3階 M0ホール
- ・大会本部 コンベンションセンター1階 和室
- ・クローケ 体育館
- ・休憩所 体育館
- ・展示・書籍販売 体育館
- ・託児室 人間科学部・東館205号室

- ・シンポジウム コンベンションセンター3階 M0ホール
- ・特別講演 コンベンションセンター3階 M0ホール
- ・講演 人間科学部・東館 207
- ・自主シンポジウム 人間科学部・東館 207
- ・ワークショップ コンベンションセンター, 人間科学部・東館
- ・口頭発表 コンベンションセンター, 人間科学部・東館
- ・ポスター発表 体育館

◆コンベンションセンター 平面図

⇒受付, 総会, シンポジウム, 特別講演, ワークショップ, 口頭発表(ショート), 大会本部

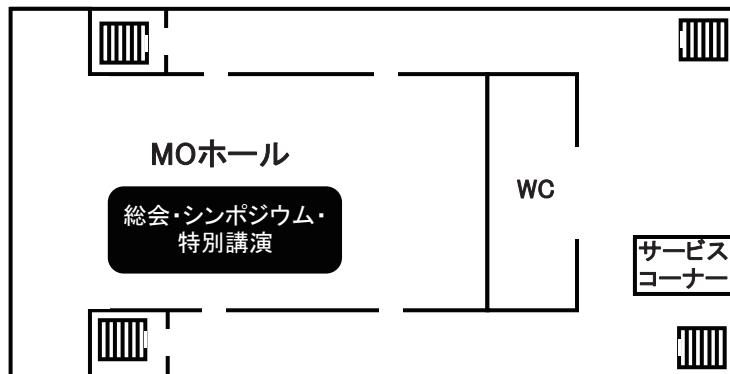


2階



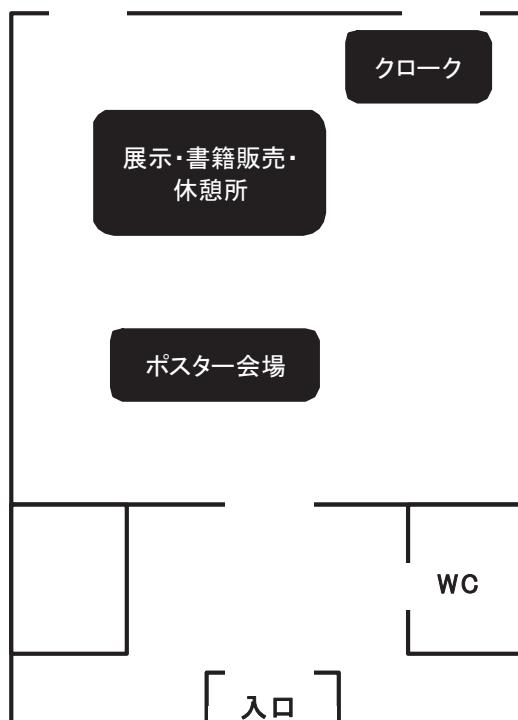
会場案内

3階



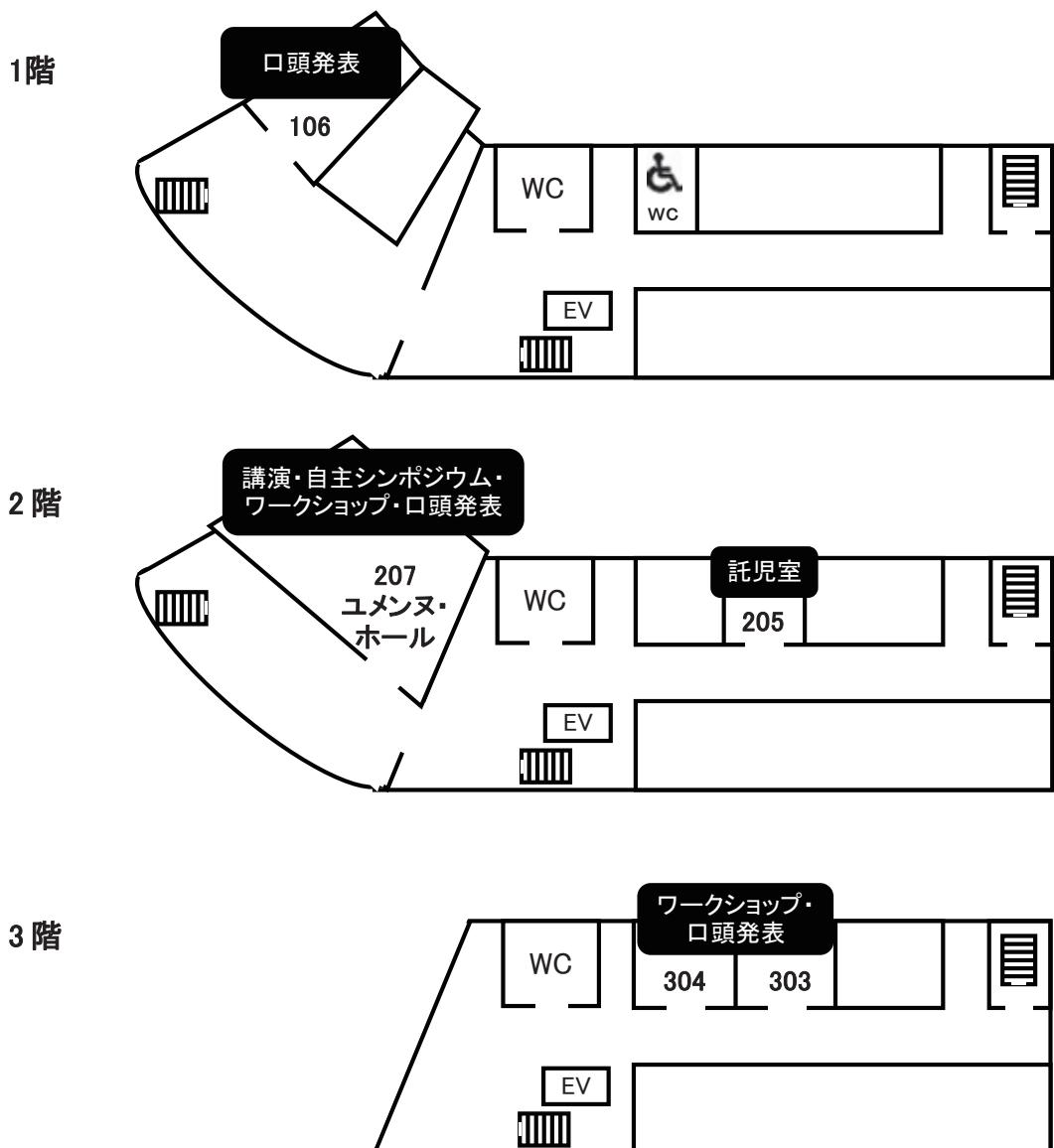
◆体育館 平面図

⇒ポスター発表、展示、書籍販売、クローケ、休憩所



◆人間科学部・東館 平面図

⇒講演、自主シンポジウム、ワークショップ、口頭発表(ロング・English・ショート)、託児室



大会案内

大会についてのご案内

1. 受付

第1日目（10月10日）は午前8時30分、第2日目（10月11日）は午前8時30分、第3日目（10月12日）は午前9時00分、コンベンションセンター1階において受付を行います。大会会場内では、受付でお渡しする名札を必ずお付けください。

2. 諸費用

①大会参加費（当日）	※ ^{1,2}	正会員（大学院生を含む）	臨時会員	8,000円
		学部学生		4,000円
②論文集購入費（当日）		個人・機関		7,000円
		学生（大学院生を含む）		2,000円
③懇親会参加費（当日）		一般		6,500円
		大学院生・学部学生		5,000円

※1 大会参加費にはプログラム・大会論文集CD代金が含まれています。

※2 名誉会員の方は大会参加費が無料となります。

3. 総会

場所：両学会ともにコンベンションセンター3階の「M0ホール」で開催されます。

日時：日本グループ・ダイナミックス学会は、第1日目の12時10分より開催されます。

日本社会心理学会は、第2日目の12時20分より開催されます。

4. 昼食

第1日目は、日本グループ・ダイナミックス学会の総会時に、第2日目は、日本社会心理学会の総会時に、無料で弁当を用意しております（各学会会員のみ）。また、周辺に食事のできる店が少ないため、三日間を通して各施設で弁当を販売しております。

5. クローク

体育館に設置します。お預かり時間は、大会の受付開始時間から、その日の全プログラム終了30分後までとします。なお、貴重品は必ずご自身でお持ちください。

6. 懇親会

第2日目（10月11日）の18時30分より、ホテル阪急エキスポパーク内のオービットホール（3頁案内地図参照）で開催いたします。ワークショップ・口頭発表・ポスター発表の終了時刻が17時40分となっております。多数のご参加をお待ちしています。懇親会会場へは大会会場より送迎バスを準備していますのでご利用ください。

- ①送迎バス：コンベンションセンター前にて乗車（所要時間約15分）
- ②タクシー：大阪大学医学部付属病院の玄関前にて（所要時間約10分）
- ③モノレール：阪大病院前駅から乗車、万博記念公園駅に下車、徒歩5分（所要時間約10分）

7. 休憩所、展示、書籍販売

休憩所、展示、書籍販売は、体育館（ポスター会場）に設けています。

8. 諸連絡の掲示／コミュニケーション・ボード

コンベンションセンター、体育館、人間科学部・東館それぞれの施設入り口に、掲示板およびコミュニケーション・ボードを設置いたします。掲示板には大会本部からの連絡を掲示しますので、隨時ご覧ください。また、コミュニケーション・ボードには、研究に関する事柄であれば自由に用紙をお貼りいただけます（研究会のお知らせ、研究書籍の案内等）。ただし、用紙には掲示いただく方のお名前とご所属を明記してください。ボード脇に文具類を用意しますので、ご利用ください。あらかじめご用意いただいた用紙を貼り付けていただいてもかまいません。

9. スタッフ・大会本部

スタッフは、目印となるものを身につけておりますので、遠慮なくご用を申しつけください。また、大会本部はコンベンションセンター1階の「和室」に設けます。緊急のご連絡の際には、本部にお越しいただくか、スタッフに声をおかけください。なお、会場外からの緊急の電話連絡は090-9142-5593までお願いします。電話連絡は大会運営に関する事に限りますので、ご協力をお願い申し上げます。

大会案内

10. 理事会等

下記の日程により開催されます。

場所：詳細は別途関係者へ連絡します。

日時：

日本社会心理学会

- | | | |
|-------------|--------|-------------|
| ①優秀論文賞選考委員会 | 10月 9日 | 11:00-12:00 |
| ②編集委員会 | 10月 9日 | 12:00-14:00 |
| ③常任理事会 | 10月 9日 | 13:00-15:00 |
| ④理事会 | 10月 9日 | 15:00-16:30 |

日本グループ・ダイナミックス学会

- | | | |
|-------------|--------|-------------|
| ①常任理事会 | 10月 9日 | 15:00-17:00 |
| ②理事会 | 10月 9日 | 17:00-18:30 |
| ③優秀論文賞選考委員会 | 10月 9日 | 18:30-19:30 |

発表者へのご案内

1. 口頭発表

① 時間

ショート・スピーチ、English・Speechは、1件あたり15分を割り当て、発表時間を12分、討論時間を3分とします。また、セッションの最後に15分の全体討論の時間を設けます。ロング・スピーチは、40分を割り当て、発表時間を30分、討論時間を10分とします。時間をお守りいただき、座長の指示にしたがって発表を行ってください。合図は以下のとおりですので、ご注意ください。

- ショート・スピーチ、English・Speech

1鈴10分経過 2鈴12分経過（発表終了） 3鈴15分経過（討論終了）

- ロング・スピーチ

1鈴25分経過 2鈴30分経過（発表終了） 3鈴40分経過（討論終了）

② 機器

各会場に、発表資料投影用の機材を準備します（液晶プロジェクター・スクリーン・パソコンを用意）。パソコンについては、OSはウインドウズXP、アプリケーションはパワーポイント2003を搭載しています。これらの機材をご利用になる方は、データをUSBメモリでご持参ください。パワーポイント2003より新しいバージョンでファイルを作成される方は、あらかじめファイルの種類をパワーポイント2003以前のものに変更の上で、ご持参ください。発表時間を有効に活用できるよう、発表者は10分前に会場に到着して、セッション前の休憩時間にデータをハードディスク上にコピーするようお願いします。データの消去はセッション終了後に各自で実施願います。なお、マックintosh・パソコンは使用できません。

③ 配布資料

セッション開始前に各会場のスタッフにお渡しください。スタッフが配布いたします。なお、大会会場での印刷はできませんので、配布資料は事前にご用意ください。

④ 発表成立の要件

発表論文集への論文掲載に加え、発表と討論参加という条件を満たすことによって公式発表として認められます。プログラム中の○印は連名発表の場合の責任発表者を示しています。

⑤ 受付

発表受付は、各発表会場にて行っています。

大会案内

2. ポスター発表

① 掲示

発表用ポスターは1件につき「幅90cm×高さ210cm」以内の大きさでご準備下さい。最上段に「題目」「氏名」「所属」を明記してください。文字の大きさは指定しませんが、ポスターにもとづく討論が円滑に行えるようご配慮ください。画鋲は会場に用意いたします。掲示の準備は、セッション前の休憩時間にお願いします。セッション終了後は、迅速に撤収していただくよう、ご協力をお願いいたします。

② 在席責任時間

発表番号が奇数の方は前半の45分、偶数の方は後半の45分が在席責任時間です。原則として、この時間内は必ずポスターの前に在席してください。

③ 機器

ポスター発表において補助機器の利用を希望される方は、あらかじめ準備委員会にご相談下さい。ただし、ご希望にそえない場合もあります。

④ 発表成立の要件

発表論文集への論文掲載に加え、90分間のポスター掲示、指定された45分間の在席、質問者との個別討論という条件を満たすことによって公式発表として認められます。プログラム中の○印は連名発表の場合の責任発表者を示しています。

⑤ 受付

発表受付は、各発表会場にて行っています。

3. 連名発表者による代行と発表取消し

責任発表者がやむを得ない事情により欠席する場合、準備委員会の事前の承認を得て、連名発表者が発表を代行することができます。承認がない場合、正式な発表として認められないことがあります。また、口頭発表において発表の取消しがあった場合、その後の発表スケジュールの繰り上げは行いません。座長の指示にしたがって、討論や休憩等の時間にあててください。代行や取消しについては、早めに準備委員会までご連絡ください。

4. ワークショップ

① 時間

1企画全体で1時間30分となっております。企画者のもとで自由に進行していただきます。終了時間を厳守してください。

② 機器

各会場に、発表資料投影用の機材を準備します（液晶プロジェクター・スクリーン・パソコンを用意）。パソコンについては、OSはウィンドウズXP、アプリケーションはパワーポイント2003を搭載しています。これらの機材をご利用になる方は、データをUSBメモリでご持参ください。パワーポイント2003より新しいバージョンでファイルを作成される方は、あらかじめファイルの種類をパワーポイント2003以前のものに変更の上で、ご持参ください。発表時間を有効に活用できるよう、発表者は10分前に会場に到着して、セッション前の休憩時間にデータをハードディスク上にコピーするようお願いします。データの消去はセッション終了後に各自で実施願います。なお、マッキントッシュ・パソコンは使用できません。

5. 優秀学会発表賞

大会における発表者の中から優れたものを選考し、発表部門ごとに優秀学会発表賞を授与しています。対象者は、日本グループ・ダイナミックス学会の会員である大学院在学中の方または大学院修了（退学）後5年以内の方です。また、日本社会心理学会、日本グループ・ダイナミックス学会両学会の会員で2回発表をされる方は、エントリー時に指定された発表内容についてのみ選考されます。

6. 大会準備委員会の連絡先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2

大阪大学大学院人間科学研究科対人社会心理学研究室内

日本社会心理学会第50回大会・

日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会合同大会準備委員会

(事務局長 釘原直樹)

E-mail sp50@hus.osaka-u.ac.jp

大会準備委員会への連絡はE-mailでお願いいたします。

大会案内

託児のご案内

大会期間中、下記の要領で託児をご利用できます。利用を希望される方は、2009年9月25日（金）までに大会準備委員会までお申し込みください（期限厳守）。大会当日の利用申込はできません。できるだけ、早めに申し込みいただきますようご協力をお願い申し上げます。

1. 申込方法

9月25日（金）までに、以下の事項をE-mailにて大会準備委員会（sp50@hus.osaka-u.ac.jp）までお知らせください。

- ・申込者（学会員）の氏名・所属・住所
- ・申込者のE-mailアドレス、電話番号（勤務先・自宅・携帯などすべて）、FAX番号
- ・お子様の氏名、性別、年齢（月齢）
- ・託児希望時間帯

お申し込みいただいた方には手続き書類を送付します。ただちに返送していただく必要がありますので、必ず大会準備委員会から連絡がとれるようにしてください。

2. 場所と時間

人間科学部・東館205号室にて、それぞれの日の受付開始時間～プログラム終了30分後までお預かりします。

3. 受入年齢

小学校就学前のお子様を対象としますが、1歳未満のお子様の場合、お預かりできない場合もございます。事前にご相談ください。

4. 費用

1日につき、1,000円申し受けます。

5. その他

ご持参いただく持ち物等については、お申し込みのあった方に別途お知らせいたします。

第3日目 10月12日（月・祝）

受付：コンベンションセンター1階（9:00～）

		9:00	11:00	13:00	15:00	17:00
コンベンションセンター	研修室 (1F)	9:00	9:30 ショート25 自己		13:30 ショート30 社会的認知 ②	15:10 ワーク ショップ14
	会議室1 (1F)					
	会議室2 (2F)		ショート26 集団意思 決定		ワーク ショップ11	ワーク ショップ15
	会議室3 (2F)	受 付	ショート27 組織・産業		ワーク ショップ12	ワーク ショップ16
	MOホール (3F)	付		10:30 12:30 大会委員会企画 シンポジウム		
体育館		開		13:30 15:00 15:10 16:40	ポスター6	ポスター7
人間科学部・東館	106 (1F)	始				
	207 ユメンヌ・ホール (2F)		9:30 10:45 ショート28 リスク		13:30 15:00 15:10 16:40 自主 シンポジウム	ショート31 コミュニティ
	303 (3F)			13:30 15:00 ワーク ショップ13		
	304 (3F)		ショート29 環境問題			

第1日目 10月10日（土）

日本社会心理学会・日本グループ・ダイナミックス学会・アジア社会心理学会
合同企画シンポジウム

MO ホール

13:40~15:40

脳神経科学の発展と社会心理学

企画者	村田 光二	一橋大学大学院社会学研究科
企画者	結城 雅樹	北海道大学大学院文学研究科
企画者	唐沢 かおり	東京大学大学院人文社会系研究科
企画者	山口 裕幸	九州大学大学院人間環境学研究院
司会者	結城 雅樹	北海道大学大学院文学研究科
話題提供者	Sik Hung Ng (伍 錫洪)	City University of Hong Kong, Department of Applied Social Studies
話題提供者	出馬 圭世 (Keise Izuma)	玉川大学脳科学研究所
話題提供者	乾 敏郎 (Toshio Inui)	京都大学大学院情報学研究科
指定討論者	唐沢 穂	名古屋大学大学院環境学研究科
通訳	Joanna Schug	北海道大学大学院文学研究科

第2日目 10月11日（日）

日本社会心理学会第50回大会記念シンポジウム

MO ホール

14:00~16:00

新たな社会心理学の展開と現状からの脱却

企画者	山口 裕幸	九州大学大学院人間環境学研究院
企画者	唐沢 かおり	東京大学大学院人文社会系研究科
司会者	山口 裕幸	九州大学大学院人間環境学研究院
話題提供者	亀田 達也	北海道大学大学院文学研究科
話題提供者	村本 由紀子	横浜国立大学大学院国際社会科学研究科
話題提供者	辻本 昌弘	東北大学大学院文学研究科
話題提供者	竹村 和久	早稲田大学文学学術院
指定討論者	村田 光二	一橋大学大学院社会学研究科

第3日目 10月12日(月)

大会委員会企画シンポジウム

MOホール

10:30~12:30

歴史を踏まえ、この先に生きる社会心理学研究の展開を目指すために	企画者 司会者 話題提供者 話題提供者 話題提供者 指定討論者 指定討論者	大坊 郁夫 大坊 郁夫 山口 勘 小口 孝司 三浦 麻子 永田 良昭 吉田 寿夫	大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科 東京大学大学院人文社会系研究科 立教大学現代心理学部 関西学院大学文学部 学習院大学 関西学院大学社会学部
---------------------------------	---	--	---

特別講演 第1日目 10月10日（土）

MO ホール

10:30～12:00

A Social Constructionist Psychology: Creativity, Reflection, and Practice	企画者 企画者 司会・解説 講演者	サトウ タツヤ 釣原 直樹 サトウ タツヤ Kenneth Gergen	立命館大学文学部 大阪大学大学院人間科学研究科 立命館大学文学部 Senior Research Professor; Swarthmore College・立命館 大学
--	----------------------------	---	--

講演 第1日目 10月10日（土）

人間科学部・東館 207

16:00～17:30

Applying social psychology to criminal justice in Korea 韓国における刑事裁判への社会心理学 の応用	企画者 企画者 司会者 講演者	黒沢 香 安藤 清志 安藤 清志 趙 恩慶 (Eunkyung Jo)	東洋大学社会学部 東洋大学社会学部 東洋大学社会学部 翰林大学校社会科学部
--	--------------------------	---	--

自主シンポジウム 第3日目 10月12日（月）

人間科学部・東館 207

13:30～15:00

「テロとの戦い」への視点	企画者 司会者 話題提供者	釣原 直樹 釣原 直樹 杉万 俊夫	大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科 京都大学大学院人間・環境学研究科
	話題提供者 話題提供者	釣原 直樹 萩原 滋	大阪大学大学院人間科学研究科 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
	指定討論者	栗本 英世	大阪大学大学院人間科学研究科 (非会員)

ワークショップ 第1日目 10月10日（土）

人間科学部・東館 207

9:30~11:00

WS01	Frontiers of Research on Social Decision Making: From Neural Substrates to Computational Algorithms to Evolutionary Implications	Organizer Chair	Tatsuya Kameda Tatsuya Kameda	Hokkaido University, Global COE Center for the Sociality of Mind/Department of Behavioral Science Hokkaido University, Global COE Center for the Sociality of Mind/Department of Behavioral Science
		Speaker	Peter M. Todd	Indiana University, Cognitive Science, Informatics, and Psychology (nonmember)
		Speaker	Taiki Takahashi	Hokkaido University, Center for Experimental Research in Social Sciences/Department of Behavioral Science

Discussant Tatsuya Kameda
Hokkaido University, Global COE Center for the Sociality of Mind/Department of Behavioral Science

人間科学部・東館 303

9:30~11:00

WS02	非言語的コミュニケーションのマルチ・チャネル的研究の推進を目指して	企画者 企画者 司会者 話題提供者 話題提供者 話題提供者 指定討論者 指定討論者	高橋 直樹 横山 ひとみ 高橋 直樹 小川 一美 松田 昌史 横山 ひとみ 飯塚 雄一 守崎 誠一	新潟医療福祉大学健康科学部 大阪大学大学院人間科学研究科 新潟医療福祉大学健康科学部 愛知淑徳大学コミュニケーション学部 NTT コミュニケーション科学基礎研究所 大阪大学大学院人間科学研究科 島根県立大学短期大学部（非会員） 神戸市外国語大学外国語学部
------	-----------------------------------	--	--	--

ワークショップ 第2日目 10月11日（日）

会議室 2

16:10~17:40

WS09 自己意識的感情の射程

企画者	菊池 章夫	岩手県立大学
企画者	有光 興記	駒澤大学文学部
司会者	有光 興記	駒澤大学文学部
話題提供者	永房 典之	東京文化短期大学
話題提供者	福島 治	新潟大学人文学部
話題提供者	有光 興記	駒澤大学文学部
指定討論者	澤田 匡人	宇都宮大学教育学部
指定討論者	菊池 章夫	岩手県立大学

会議室 3

16:10~17:40

WS10 恋愛について議論することに意義はあるか

企画者	谷口 淳一	帝塚山大学心理福祉学部
企画者	金政 祐司	大阪人間科学大学人間科学部
司会者	谷口 淳一	帝塚山大学心理福祉学部
話題提供者	若尾 良徳	浜松学院大学現代コミュニケーション学部
話題提供者	谷口 淳一	帝塚山大学心理福祉学部
話題提供者	相馬 敏彦	川口短期大学
話題提供者	清水 裕士	日本学術振興会・関西学院大学社会学部
指定討論者	結城 雅樹	北海道大学大学院文学研究科
指定討論者	金政 祐司	大阪人間科学大学人間科学部

ワークショップ

ワークショップ 第3日目 10月12日(月)

会議室 2

13:30~15:00

WS11	若手研究者の取り組みから探る社会心理学とグループ・ダイナミックスにおける地域研究の課題と展望	企画者 司会者 話題提供者 話題提供者 話題提供者 指定討論者 指定討論者	石盛 真徳 石盛 真徳 高尾 堅司 鈴木 勇 加藤 潤三 藤田 正 野波 寛	京都光華女子大学人間科学部 京都光華女子大学人間科学部 川崎医療福祉大学医療福祉学部 大阪大学大学院人間科学研究科 大阪国際大学人間科学部 追手門学院大学経営学部 関西学院大学社会学部
------	--	---	--	--

会議室 3

13:30~15:00

WS12	「安全・安心」の社会哲学	企画者 司会者 話題提供者 話題提供者 話題提供者 指定討論者	矢守 克也 矢守 克也 藤井 聰 辻本 昌弘 矢守 克也 森岡 正博	京都大学防災研究所 京都大学防災研究所 京都大学大学院工学研究科 東北大学大学院文学研究科 京都大学防災研究所 大阪府立大学人間社会学部 (非会員)
------	--------------	--	---	--

人間科学部・東館 303

13:30~15:00

WS13	「消費」の意味を改めて問い合わせ直す —生活の中での「消費する」ことの位置づけを考える—	企画者 企画者 司会者 話題提供者 話題提供者 話題提供者 指定討論者 指定討論者	秋山 学 前田 洋光 秋山 学 阿久津 聰 嶋本 達嗣 大友 章司 池内 裕美 前田 洋光	神戸学院大学人文学部 神戸親和女子大学発達教育学部 神戸学院大学人文学部 一橋大学大学院国際経営戦略研究科 博報堂生活総合研究所 (非会員) 甲南女子大学人間科学部 関西大学社会学部 神戸親和女子大学発達教育学部
------	---	--	--	--

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 L1 ロング・スピーチ 1 (人間科学部・東館 106) 9:40~11:00

座長 曹 陽

L01-01 欺瞞的コミュニケーションにおける情報探索 太幡 直也 東洋大学社会学部

L01-02 同期型オンラインシステムを用いた施設選択実験
—回答者の特徴を理解するためのアクセスログの
活用事例 2 — 曹 陽 関西大学政策グリッドコンピュー
ティング実験センター

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 L2 ロング・スピーチ 2（人間科学部・東館 304）9:40～11:00

座長 野村 竜也

L02-01 地域におけるケアサポートシステムについての一提案
○鯫島 輝美 京都大学大学院人間・環境学研究科
竹内 みちる 京都大学大学院人間・環境学研究科

L02-02 ロボットに対する期待と予測の年代差：
自由記述データの検討から
○野村 竜也 龍谷大学理学部・ATR
鈴木 公啓 東洋大学
加藤 謙介 九州保健福祉大学社会福祉学部

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 L3 ロング・スピーチ 3 （人間科学部・東館 106） 16:00～18:00

座長 西田 公昭

L03-01 「カルト」問題に関する大学学生部への調査 2008
○渡辺 浪二 フェリス女学院大学文学部
西田 公昭 静岡県立大学看護学部
角山 剛 東京国際大学人間社会学部
山浦 一保 静岡県立大学経営情報学部

L03-02 商品先物取引被害とリスク認知 土田 昭司 関西大学社会学部

L03-03 社会集団の健康度診断とその実態研究
○西田 公昭 静岡県立大学看護学部
渡辺 浪二 フェリス女学院大学文学部
角山 剛 東京国際大学人間社会学部
山浦 一保 静岡県立大学経営情報学部

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 L4 ロング・スピーチ 4（人間科学部・東館 304） 16:00～18:00

座長 矢守 克也

L04-01 被災者による復興過程の意味づけについての研究
○宮本 匠 大阪大学大学院人間科学研究科・
渥美 公秀 日本学術振興会特別研究員
大阪大学大学院人間科学研究科

L04-02 中山間地の災害復興に関する長期的現場研究：
小千谷市塩谷集落の5年(1) 渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科

L04-03 テレビの中の防災
—「その時歴史が動いた」/「プロジェクトX」/「プロジェクトナル」— 矢守 克也 京都大学防災研究所

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 L5 ロング・スピーチ 5 (人間科学部・東館 304) 9:10~10:30

座長 杉森 伸吉

L05-01 相互協調的とされる心理の継時のダイナミックスに
関する研究 ○橋本 博文
山岸 俊男 北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会
北海道大学大学院文学研究科

L05-02 チームワークという概念：
チームワーク力測定に向けて ○杉森 伸吉 東京学芸大学教育学部・CRET
相川 充 教育テスト研究センター
横井 理絵 東京学芸大学大学院教育学研究
藤井 勉 科・CRET 教育テスト研究セン
ターキー
CRET 教育テスト研究センター
学習院大学大学院人文科学研究
科・CRET 教育テスト研究セン
ターキー

口頭発表 第 2 日 10 月 11 日 (日)

口頭発表 L6 ロング・スピーチ 6 (人間科学部・東館 304) 10:40~12:00

座長 福井 宏和

- | | | |
|--------------------------------|-----------------|---|
| L06-01 内集団ひいきにおける適応論アプローチ | ○三船 恒裕
山岸 俊男 | 北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会特別研究員
北海道大学大学院文学研究科 |
| L06-02 安全文化醸成活動における「学習する組織」の検討 | ○福井 宏和
杉万 俊夫 | 原子力安全システム研究所
京都大学大学院人間・環境学研究科 |

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 L7 ロング・スピーチ 7 (人間科学部・東館 304) 16:10~17:30

座長 伊藤 忠弘

L07-01 性役割的偏見とジェンダー・ステレオタイプのシステム正当化機能 ○沼崎 誠 首都大学東京大学院人文科学研究科
高林 久美子 一橋大学大学院社会科学研究科

石井 国雄 首都大学東京大学院人文科学研究科
佐々木 香織 首都大学東京大学院人文科学研究科
天野 陽一 東京都立大学大学院人文科学研究科

L07-02 重要な他者からの期待や葛藤経験と努力の理由づけ
との関係
— 他者志向的動機づけを規定する他者との関係性
の検討 — 伊藤 忠弘 学習院大学文学部

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 E1 Intrapersonal Process (人間科学部・東館106) 9:00~10:30

CHAIR Ai Fukuzawa

- | | | | |
|--------|---|--|--|
| E01-01 | The Relationship of Motivation and Self-Esteem
Implied in Self-Presentational Verbal Expressions | ○Joo Lee
Takafumi Sawaumi | University of Tokyo, Graduate School of Humanities and Sociology
University of Tokyo, Graduate School of Humanities and Sociology |
| E01-02 | Social Cognition
Mission Oriented-Future, Self-Esteem-Recovery
2005, Experimented 1968 right ? | | Yukihiro Itoigawa
Wisdom Inc. |
| E01-03 | Ambivalence and decisional conflict as a cause of psychological discomfort:
Feeling tense when jumping off the fence | ○Frenk van Harreveld
Iris Schneider
Joop van der Pligt
Bastiaan Rutjens
Mark Rotteveel | University of Amsterdam
University of Amsterdam
University of Amsterdam
University of Amsterdam
University of Amsterdam |
| E01-04 | Relationship between Self-Esteem Vulnerability and Belief in Efforts:
Self-Esteem Vulnerability Can be Beneficial | Ai Fukuzawa | University of Tokyo, Graduate School of Humanities and Sociology |

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 E2 Community (人間科学部・東館106) 10:40~12:10

CHAIR Motohiko Nagata

- E02-01 Transgressor Apology for the Victim and the Third-party:
Its Effects on Cognition, Emotion, and Motivation
○Takaaki Hashimoto University of Tokyo, Graduate School of Humanities and Sociology
Kaori Karasawa University of Tokyo, Graduate School of Humanities and Sociology
- E02-02 Addresses of memoirs by disaster survivors
○Junko Takamori Osaka University, Graduate School of Human Sciences
Tomohide Atsumi Osaka University, Graduate School of Human Sciences
- E02-03 Text Analysis of Government Public Polls on Aged People
Michiru Takeuchi Kyoto University, Graduate School of Human and Environmental Studies
- E02-04 Scenario workshop utilizing expert knowledge on future development of watershed environment:
A case of Lake Shumarinai, Hokkaido
Motohiko Nagata Kyoto University, Graduate School of Human and Environmental Studies

口頭発表 第2日 10月11日(日)

口頭発表 E3 Communication (人間科学部・東館106) 16:10~17:40

CHAIR Takeshi Hamamura

- E03-01 A Proposal for a New Taxonomy of Hiniku
Takafumi Sawaumi University of Tokyo, Graduate School of Humanities and Sociology
 Joo Lee University of Tokyo, Graduate School of Humanities and Sociology
- E03-02 Is Twitter a blog or a SNS?:
 How and why users are using Twitter?
Kyoko Kato Tokyo Keizai University, Graduate School of Communication Studies
 Yasuyuki Kawaura Tokyo Keizai University, Faculty of Communication Studies
- E03-03 Impression formation of Chinese students through cell phone communication:
 Comparing text and voice messages
Shaoyu Ye Ochanomizu University, Graduate School of Humanities and Sciences
 Akiyo Shoun Ochanomizu University, Graduate School of Humanities and Sciences
 Mari Aita Ochanomizu University, Graduate School of Humanities and Sciences
 Akira Sakamoto Ochanomizu University, Graduate School of Humanities and Sciences
- E03-04 Origin of Individualism-Collectivism Cultural Differences:
 A Case of US-Japan Cross-Temporal Comparisons
 Takeshi Hamamura Chinese University of Hong Kong, Department of Psychology

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S1 犯罪・非行（研修室） 9:30～11:00

座長 今在慶一朗

- | | | |
|--|-----------------------------------|--|
| S01-01 犯罪は地域コミュニティに何を引き起こすのか？
社会関係資本論からの検討 | ○高木 大資
小林 哲郎
針原 素子
池田 謙一 | 東京大学大学院人文社会系研究科
国立情報学研究所
日本学術振興会・東北大学大学院
文学研究科
東京大学大学院人文社会系研究科 |
| S01-02 集合的効力感が住宅侵入盗被害に与える影響 | 島田 貴仁 | 科学警察研究所犯罪行動科学部 |
| | | |
| S01-03 受刑者の公正感と規範的態度に関する調査研究(1)
—手続き的公正の心理的効果に対する長期的利得期待の調整効果— | ○今在 慶一朗
内山 博之
今在 景子 | 北海道教育大学函館校
喜連川社会復帰促進センター
名古屋大学大学院法学研究科 |
| S01-04 受刑者の公正感と規範的態度に関する調査研究(2)
—手続き的公正が生活への動機づけと出所後の自信に与える効果— | ○今在 景子
内山 博之
今在 慶一朗 | 名古屋大学大学院法学研究科
喜連川社会復帰促進センター
北海道教育大学函館校 |
| S01-05 受刑者の公正感と規範的態度に関する調査研究(3)
—高齢受刑者の施設内の手続き的公正感が受刑生活等に与える効果について— | ○内山 博之
今在 慶一朗
今在 景子 | 喜連川社会復帰促進センター
北海道教育大学函館校
名古屋大学大学院法学研究科 |

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S2 スキル・サポート（会議室1）9:30～11:00

座長 相馬 敏彦

S02-01 対人行動の効果と受容感
—シナリオ実験による検討—

源氏田 憲一 実践女子大学（非常勤）

S02-02 主張性が友人関係満足感に及ぼす影響
—高校生時と大学生時について—

渡部 麻美 筑波大学大学院人間総合科学研究科

S02-03 ネガティブな感情体験の社会的共有によって被開示者が得る利点の検討
—被開示者としての反応スタイルと人格的成長との関連—

吉田 琢哉 名古屋大学大学院教育発達科学研究所

S02-04 ホスピタリティ(hospitality)の一考察

○池崎 宏昭 京都外国语大学外国语学部
高木 修 関西大学社会学部

S02-05 ネットワークを“共有すること”は“共有しないこと”的裏返し?
—葛藤対処に及ぼす共有ネットワークと独自ネットワークの機能的独立性—

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S3 身近な対人関係①（会議室2）9:30～11:00

座長 若尾 良徳

- S03-01 恋愛関係崩壊後のストレス関連成長(2)
—アタッチメント・スタイルと失恋形態に着目して—
○中山 真
橋本 剛
名古屋大学大学院教育発達科学研究科
静岡大学人文学部
- S03-02 恋愛の進展段階
○川名 好裕
齊藤 勇
川村学園女子大学教育学部
立正大学心理学部
- S03-03 中年期の夫婦関係において成人の愛着スタイルが関係内での感情経験ならびに関係への評価に及ぼす影響
金政 祐司
大阪人間科学大学人間科学部
- S03-04 関係効力性が恋愛関係における葛藤対処行動に及ぼす影響
浅野 良輔
名古屋大学大学院教育発達科学研究科
- S03-05 性交経験人数の情報が魅力および人物評価に及ぼす影響
若尾 良徳
浜松学院大学現代コミュニケーション学部

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S4 パーソナリティと社会的行動（会議室3） 9:30～11:00

座長 上出 寛子

- S04-01 高自尊心者の相互独立性が抑制されるとき
—自尊心と課題/対人関連ストレスが個人の相互独立/相互協調性の変動に及ぼす影響—
○中島 健一郎 広島大学大学院総合科学研究科・
柳澤 邦昭 日本学術振興会特別研究員
浦 光博 広島大学大学院総合科学研究科
広島大学大学院総合科学研究科
- S04-02 社会的自己制御における解釈レベルとマインドセットの効果
○原田 知佳 名古屋大学大学院教育発達科学研究科・日本学術振興会
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
- S04-03 親子の主観的充実感およびその規定因の相互関連性 堀毛 一也 岩手大学人文社会科学部
- S04-04 満足水準がサンクコスト効果に及ぼす影響
○川村 誠 北海道大学大学院文学研究科
亀田 達也 北海道大学大学院文学研究科
- S04-05 well-being を目指す動機づけ
○上出 寛子 大阪大学大学院人間科学研究科
大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S5 社会的ジレンマ （研修室） 16:00～17:15

座長 清成 透子

- S05-01 内集団協力によって外集団脅威は生起するか
○坪井 翔 京都大学大学院文学研究科
渡部 幹 早稲田大学高等研究所
- S05-02 一般交換との連結による社会的ジレンマ解決
—進化シミュレーションによる検討—
○真島 理恵 熊本学園大学商学部
高橋 伸幸 北海道大学大学院文学研究科
- S05-03 個人の大衆性と弁証法的議論の失敗
○羽鳥 剛史 東京工業大学大学院理工学研究科
藤井 聰 京都大学大学院工学研究科
- S05-04 1回限りのジレンマ状況におけるサנקション行動
と意図のわかりやすさに関する実験研究
清成 透子 青山学院大学社会情報学部

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S6 態度・価値①（会議室1） 16:00～17:15

座長 吉澤 寛之

S06-01 公正なる世界観、ハイメインテナンス相互作用、制 度への信頼が規範的判断に及ぼす影響 ○深草 茉李
浦 光博 広島大学大学院総合科学研究所
広島大学大学院総合科学研究所

S06-02 制御適合は説得的メッセージの精緻化を促すか？ ○高林 久美子
—制御焦点と方略の一致の効果— 村田 光二
尾崎 由佳 一橋大学大学院社会学研究科
一橋大学大学院社会学研究科
東海大学チャレンジセンター

S06-03 親切は迷惑行為を抑止するか？ ○油尾 聰子
—互恵的な態度の喚起による社会的迷惑行為の抑 止効果— 吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研 究科
名古屋大学大学院教育発達科学研 究科

S06-04 社会環境が社会的行動に及ぼす影響(13) ○吉澤 寛之
—社会化要因を媒介した反社会的行動規定モデル の国際比較— 原田 知佳 岐阜聖徳学園大学教育学部
名古屋大学大学院教育発達科学研 究科・日本学術振興会特別研究員
朴 賢晶 愛知文教女子短期大学
中島 誠 三重大学共通教育センター
尾関 美喜 日本学術振興会特別研究員・名古
吉田 俊和 屋大学大学院教育発達科学研 究科
名古屋大学大学院教育発達科学研 究科

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S7 マスコミ（会議室2） 16:00～17:15

座長 植村善太郎

- S07-01 社会関係資本とメディア・リテラシーとの関係について ○杉本 奈穂 東京大学大学院人文社会系研究科
池田 謙一 東京大学大学院人文社会系研究科
- S07-02 選挙報道に対する認知反応の内容と議題設定との関連 金子 友紀 九州大学大学院人間環境学府
- S07-03 マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(15) 〇釘原 直樹 大阪大学大学院人間科学研究科
テレビ CM の認知の歪み 村上 幸史 神戸山手大学現代社会学部
植村 善太郎 福岡教育大学教育学部
阿形 亜子 大阪大学大学院人間科学研究科
- S07-04 マスコミが対象とするスケープゴートの変遷(16) 〇植村 善太郎 福岡教育大学教育学部
テキストマイニングソフトの特質を生かした検討 村上 幸史 神戸山手大学現代社会学部
阿形 亜子 大阪大学大学院人間科学研究科
釘原 直樹 大阪大学大学院人間科学研究科

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S8 身近な対人関係②（会議室3） 16:00～17:15

座長 清水 裕士

- S08-01 ペア・縦断データを用いた友人関係の形成に関する研究(3)
～自己呈示が友人からの評価の正確さの認知に及ぼす影響～ ○谷口 淳一
清水 裕士 帝塚山大学心理福祉学部
日本学術振興会・関西学院大学社会学部
- S08-02 出来事の帰属が父子関係の良好さに与える効果：
パネル調査による検討 ○大高 瑞郁
唐沢 かおり 東京大学大学院人文社会系研究科
東京大学大学院人文社会系研究科
- S08-03 友人関係の单一—多重送信性と拒絶のサインへの感受性
—愛着傾向による調整効果に注目して— ○宮崎 弦太
向井 有理子 大阪市立大学大学院文学研究科・
大阪市立大学大学院文学研究科 UCRC・日本学術振興会特別研究員
田端 拓哉 大阪市立大学大学院文学研究科・
大阪市立大学大学院文学研究科 UCRC
池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科
- S08-04 かけがえのない他者への利他的投資の規範(2)
～友人の投資行動への評価に対する固有性の調整効果～ ○清水 裕士
大坊 郁夫 日本学術振興会・関西学院大学社会学部
大阪大学大学院人間科学研究科

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S9 社会的交換①（人間科学部・東館303） 16:00～17:15

座長 神 信人

S09-01 交換形態と時間割引

○高橋 伸幸 北海道大学大学院文学研究科
小野田 竜一 北海道大学大学院文学研究科

S09-02 集団間葛藤と頻度依存傾向：
進化シミュレーションと実験による検討

○中西 大輔 広島修道大学人文学部
横田 晋大 北海道大学大学院文学研究科

S09-03 他者の信念・感情推測が分配行動に与える影響

○高岸 治人 北海道大学大学院文学研究科・日本
学術振興会
Joanna Schug 北海道大学大学院文学研究科
山岸 俊男 北海道大学大学院文学研究科

S09-04 打算的利他行動に対する評価

○神 信人 淑徳大学総合福祉学部
松本 良恵 淑徳大学大学院総合福祉研究科

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S10 社会的認知①（研修室） 17:25～18:40

座長 藤井 聰

- S10-01 多面的単純接触効果(2)
—多表情顔写真への觸下での反復接触が人物評価に及ぼす効果—
○川上 直秋 筑波大学大学院人間総合科学研究科
吉田 富二雄 筑波大学大学院人間総合科学研究科
- S10-02 社会的事象の変化検出と注目率に関する数理モデルと計量分析
○竹村 和久 早稲田大学文学学術院
羽鳥 剛史 東京工業大学大学院理工学研究科
藤井 聰 京都大学大学院工学研究科
- S10-03 ディストラクタ課題への注意の持続が思考抑制に及ぼす影響
服部 陽介 名古屋大学大学院環境学研究科・日本学術振興会
- S10-04 選択に基づく選好形成
○藤井 聰 京都大学大学院工学研究科
羽鳥 剛史 東京工業大学大学院理工学研究科
竹村 和久 早稲田大学文学学術院

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S11 態度・価値②（会議室1） 17:25～18:40

座長 小林 知博

- S11-01 不健康な食品摂取行動における習慣の心理的プロセスの検討 大友 章司 甲南女子大学人間科学部
- S11-02 禁煙外来患者の煙草に対する潜在的・顯在的態度の変化と禁煙行動との関連 ○小林 知博 平井 啓 神戸女学院大学人間科学部
大阪大学大学院人間科学研究科
- S11-03 項目反応理論による労働価値観測定尺度の分析 ○江口 圭一 戸梶 亜紀彦 広島大学大学院社会科学研究科
- S11-04 なぜ人はモノが捨てられないのか
— 成人のアニミズム的思考の観点から — 池内 裕美 関西大学社会学部

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S12 消費・広告（会議室2） 17:25～18:40

座長 泉水 清志

S12-01 ブランド態度における感情と認知：
ネガティブな情報への耐性の研究 杉谷 陽子 上智大学経済学部

S12-02 商品関与が口コミの目的と内容に及ぼす効果 ○范 知善 東京大学大学院人文社会系研究科
池田 謙一 東京大学大学院人文社会系研究科

S12-03 検索連動型広告に表示されるか否かがブランド資産 〇鍵山 琢実 東京大学大学院人文社会系研究科
に与える影響 池田 謙一 東京大学大学院人文社会系研究科
—検索連動型広告にブランディング効果はあるのか—

S12-04 購買行動時の気分の確実性が広告情報処理に及ぼす 影響 泉水 清志 育英短期大学

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S13 学校・教育（会議室3） 17:25～18:40

座長 弓削 洋子

- S13-01 いじめの原因帰属に影響を及ぼす集団性
— 加害者集団サイズと傍観者集団サイズの視点から — ○大野 晶子 (株)日本システムディベロップメント
本間 道子 日本女子大学人間社会学部
- S13-02 自己調整的学習に与える社会的環境的要因について ○寺田 未来
の研究 浦 光博 広島大学大学院総合科学研究院
広島大学大学院総合科学研究院
- S13-03 学級コンサルテーションにおけるメッセージ交換が 弓削 洋子 愛知教育大学教育学部
教師の学級課題認知変容に及ぼす効果
- S13-04 高校教師の心理契約の構造および規定要因の研究 ○関 瑜 九州大学大学院人間環境学府
古川 久敬 九州大学大学院人間環境学研究院

口頭発表 第1日 10月10日（土）

口頭発表 S14 社会的交換②（人間科学部・東館 303）17:25~18:40

座長 渡部 幹

S14-01 他者の利他性検知スキルを規定する要因：
一般的信頼と社会的魅力

○品田 瑞穂	日本学術振興会海外特別研究員・ 北海道大学大学院文学研究科
山岸 俊男	北海道大学大学院文学研究科
李 楊	北海道大学大学院文学研究科
Joanna Schug	北海道大学大学院文学研究科
三船 恒裕	北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会特別研究員
橋本 博文	北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会特別研究員

S14-02 サンクション行動が相互作用に及ぼす効果

○堀田 結孝	北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会
山岸 俊男	北海道大学大学院文学研究科

S14-03 社会的交換における関係深化のシミュレーション

○松本 良恵 神 信人	淑徳大学大学院総合福祉研究科 淑徳大学総合福祉学部
----------------	------------------------------

S14-04 評判情報の探索方略
—日米比較実験—

○渡部 幹 小宮 あすか 坪井 翔	早稲田大学高等研究所 京都大学大学院教育学研究科・日本学術振興会 京都大学大学院文学研究科
-------------------------	---

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 S15 対人的コミュニケーション（研修室） 9:00～10:30

座長 平松 隆円

S15-01 対人不安特性と他者からの拒否に対する行動との関係 落合 茗子 筑波大学大学院人間総合科学研究科

S15-02 皮肉伝達における透明性の錯覚 岡本 真一郎 愛知学院大学心身科学部
—表現の不誠実性の効果—

S15-03 化粧規範に関する研究 II 平松 隆円 人間文化研究機構 国際日本文化
—社会的場面での化粧行動と化粧基準の関連性— 研究センター

S15-04 大学生の人づきあいの構造特性に関する研究 ○瓜生 佑樹 九州大学大学院人間環境学府
古川 久敬 九州大学大学院人間環境学研究院

S15-05 雑談的会話における「よ」と「ね」の対人コミュニケーション機能 福島 和郎 多摩リハビリテーション学院

口頭発表 第2日 10月11日(日)

口頭発表 S16 感情・動機 (会議室1) 9:00~10:30

座長 丸本 奈央

S16-01	先延ばし意識特性尺度と諸変数との関連の検討 —目標志向性、成長期待および評価懸念の影響—	小浜 駿 筑波大学大学院人間総合科学研究科
S16-02	目標への再挑戦の意欲を促進する要因 —目標志向性、成長期待および評価懸念の影響—	○野上 真 古川 久敬 九州大学大学院人間環境学研究院 九州大学大学院人間環境学研究院
S16-03	表情表出の抑制が他者感情の認知に及ぼす影響 —Embodied cognition theory の実証的検討—	○村田 藍子 齋藤 寿倫 亀田 達也 北海道大学大学院文学研究科 北海道大学大学院文学研究科 北海道大学大学院文学研究科
S16-04	他者感情の理解が表情模倣に与える影響 —表情模倣現象の機能と頑健性の検討—	○齋藤 寿倫 村田 藍子 亀田 達也 北海道大学大学院文学研究科 北海道大学大学院文学研究科 北海道大学大学院文学研究科
S16-05	セルフ・ハンディキャッピングの情動制御効果: 状態不安との関係に着目して	○丸本 奈央 高木 修 関西大学大学院社会学研究科 関西大学社会学部

口頭発表 第2日 10月11日(日)

口頭発表 S17 集団間関係 (会議室2) 9:00~10:30

座長 竹村 幸祐

- S17-01 内集団成員から見られることが集団間代理報復に及ぼす影響 ○繩田 健悟
山口 裕幸 九州大学大学院人間環境学府
九州大学大学院人間環境学研究院
- S17-02 集団内公正が集団間不公正認知に与える効果 ○熊谷 智博
川嶋 伸佳 東北大学大学院文学研究科
浅井 暢子 東北大学大学院文学研究科・日本
学術振興会特別研究員
- S17-03 仮想世界ゲーム電子試作版の現実感
—オリジナル版ゲームとの比較を中心にして— ○柿本 敏克
広瀬 幸雄 群馬大学社会情報学部
名古屋大学大学院環境学研究科
- S17-04 集団間での友人関係が外集団に与える影響の日英比較 釜田 健介
—集団主義の調整効果— 名古屋大学大学院環境学研究科
- S17-05 「自由市場」型社会で集団間比較を促進するメタストレオタイプ ○竹村 幸祐
結城 雅樹 京都大学こころの未来研究センター
北海道大学大学院文学研究科

口頭発表 第2日 10月11日(日)

口頭発表 S18 電子ネットワーキング (会議室3) 9:00~10:30

座長 三浦 麻子

- S18-01 携帯電話の使用が友人関係・家族関係に及ぼす影響
—中学生を対象に— ○赤坂 瑞以 お茶の水女子大学大学院人間文化
創成科学研究科
坂元 章 お茶の水女子大学大学院人間文化
創成科学研究科
- S18-02 「自傷サイト」における自傷の伝染
—自傷発生と傷の重篤さの競い合い— 砂谷 有里 明治学院大学大学院社会学研究科
- S18-03 がん・アトピー性皮膚炎患者・家族のインターネット行動(1):
批判的思考が情報信頼性評価と病気への適応に及ぼす効果 ○楠見 孝 京都大学大学院教育学研究科
三浦 麻子 関西学院大学文学部
小倉 加奈代 北陸先端科学技術大学院大学知識
科学研究科
- S18-04 がん・アトピー性皮膚炎患者・家族のインターネット行動(2)
—インターネット上の情報への期待に関するテキストマイニングによる検討— ○三浦 麻子 関西学院大学文学部
楠見 孝 京都大学大学院教育学研究科
小倉 加奈代 北陸先端科学技術大学院大学知識
科学研究科
- S18-05 オンライン仮想空間を利用したがん患者のコミュニティ形成:
発言行動分析に基づいたコミュニティ成熟度の検討 ○小倉 加奈代 北陸先端科学技術大学院大学知識
科学研究科
楠見 孝 京都大学大学院教育学研究科
三浦 麻子 関西学院大学文学部

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 S19 政治（研修室） 10:40～12:10

座長 野波 寛

S19-01 住民と行政との協働に関する意識の地域間差に関する検討
—江戸川区と武蔵野市との比較を通して—
高橋 尚也 日本学術振興会・早稲田大学

S19-02 24の政治的語り その1：
一般有権者が見た日本政治
○稻増 一憲 東京大学大学院人文社会系研究科
池田 真季 東京大学大学院人文社会系研究科

S19-03 24の政治的語り その2：
政治的会話が政治参加に与える影響
○池田 真季 東京大学大学院人文社会系研究科
稻増 一憲 東京大学大学院人文社会系研究科
・日本学術振興会

S19-04 投票の論理と制約：
態度の幅と選択の幅の時系列的分析
池田 謙一 東京大学大学院人文社会系研究科

S19-05 公共問題における説得効果と正当性：
正当性検証版SNGを用いた実験的検討
○野波 寛 関西学院大学社会学部
加藤 潤三 大阪国際大学人間科学部
中谷内 一也 同志社大学心理学部
杉浦 淳吉 愛知教育大学教育学部

口頭発表 第2日 10月11日(日)

口頭発表 S20 集団① (会議室1) 10:40~12:10

座長 五十嵐 祐

- S20-01 集団全体の遂行水準が各成員の動機づけに及ぼす効果
—他者の動機づけ認知との複合的影響— ○阿形 亜子
釘原 直樹 大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学大学院人間科学研究科
- S20-02 個人およびチームによる経験の振り返りに関する研究 ○津曲 陽子
古川 久敬 九州大学大学院人間環境学府
九州大学大学院人間環境学研究院
- S20-03 作業集団における構成員の多様性:
多様性集団に対する態度の役割 名久井 俊彦 東京福祉大学通信教育部
- S20-04 内集団ひいき行動の進化
～コンピュータ・シミュレーションによる検討～ ○小野田 竜一
高橋 伸幸 北海道大学大学院文学研究科
北海道大学大学院文学研究科
- S20-05 社会的ネットワークの不均衡と規範意識のズレが関係満足感に与える影響:
階層線型モデルによるグループデータの縦断的分析 五十嵐 祐 北海学園大学経営学部

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 S21 文化（会議室2） 10:40～12:10

座長 石井 敬子

S21-01 関係流動性が対人関係の形成に及ぼす影響：
米国の社会調査データを用いて

○ Joanna Schug 北海道大学大学院文学研究科
佐藤 剛介 北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会
竹村 幸祐 京都大学こころの未来研究センター
結城 雅樹 北海道大学大学院文学研究科

S21-02 選好か戦略か？
適応戦略としての文化特定的行動

○ 李 楊 北海道大学大学院文学研究科
橋本 博文 北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会特別研究員
山岸 俊男 北海道大学大学院文学研究科

S21-03 中国人ホスト学生の異文化接触における葛藤認知と
対処
— AUC-GS 学習モデルに基づく分析 —

○ 奥西 有理 大阪大学大学院工学研究科
田中 共子 岡山大学大学院社会文化科学研究科

S21-04 対人的一個人的状況における後悔と選択行動：
日米比較研究

○ 小宮 あすか 京都大学大学院教育学研究科・日本学術振興会
渡部 幹 早稲田大学高等研究所
宮本 百合 University of Wisconsin-Madison, Department of Psychology
楠見 孝 京都大学大学院教育学研究科

S21-05 自主的移民と独立的エートス：
北海道における選択による動機づけ効果

石井 敬子 北海道大学社会科学実験研究センター

口頭発表 第2日 10月11日(日)

口頭発表 S22 社会問題 (会議室3) 10:40~12:10

座長 八ッ塚一郎

- S22-01 首都圏近郊と地方都市における地域住民の意識と行動(1)
片桐 恵子 東京大学高齢社会総合研究機構
片桐 恵子 (財)日本興亜福祉財団社会老年学
研究所
S22-02 首都圏近郊と地方都市における地域住民の意識と行動(2)
社会参加 片桐 恵子 (財)日本興亜福祉財団社会老年学
研究 所
菅原 育子 東京大学高齢社会総合研究機構
S22-03 「自立」というジレンマ II:
障害者就労の場面から ○青木 千帆子 大阪大学大学院人間科学研究科
渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科
S22-04 ホームレス支援全国ネットワークの形成過程と集合性 ○堀江 尚子 大阪大学大学院人間科学研究科
渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科
S22-05 「赤ちゃんポスト」言説に対する分析の試み ○八ッ塚 一郎 熊本大学教育学部
樂木 章子 岡山県立大学保健福祉学部

口頭発表 第2日 10月11日(日)

口頭発表 S23 集団② (人間科学部・東館 207) 16:10~17:40

座長 山岡 重行

- S23-01 集団レベルの集団アイデンティティとは何か
—マルチレベルからみた成員性と誇りの差異—
○尾関 美喜 日本学術振興会・名古屋大学大学院教育発達科学研究科
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
- S23-02 外集団数が内集団ひいきの評価差に与える影響
○渡辺 匠 東京大学大学院人文社会系研究科
福島 治 新潟大学人文学部
- S23-03 企業組織における信頼の意味を考える
○今城 志保 リクルートマネジメントソリューションズ組織行動研究所
繁樹 江里 山梨学院大学法学部
菅原 育子 東京大学高齢社会総合研究機構
- S23-04 科学的実践のグループ・ダイナミックス
—実験室共同体の軌跡の追跡に向けて—
日比野 愛子 日本学術振興会
- S23-05 社会規範と集団規範が食い違う場面での集団意志決定と集団内の立場の違いが個人の態度に及ぼす影響
山岡 重行 聖徳大学人文学部

口頭発表 第2日 10月11日（日）

口頭発表 S24 対人的相互作用（人間科学部・東館303）16:10～17:40

座長 佐々木美加

S24-01 罪悪感はコストのかかる謝罪を引き出すか？ ○渡邊 えすか 神戸大学大学院人文学研究科
大坪 庸介 神戸大学大学院人文学研究科

S24-02 不正直なシグナルとしてのお世辞の研究 ○松村 麻美 神戸大学大学院人文学研究科
大坪 庸介 神戸大学大学院人文学研究科

S24-03 排斥経験後の新規他者の開拓に一般的な信頼が及ぼす影響
— 説得納得ゲームを用いた検討 — ○柳澤 邦昭 広島大学大学院総合科学研究科
西村 太志 広島国際大学心理科学部
浦 光博 広島大学大学院総合科学研究科
古谷 嘉一郎 比治山大学現代文化学部

S24-04 集団成員間の相互作用から捉えたフェイスワーク 横溝 環 青山学院女子短期大学
— フェイスワークと境界形成との関わり —

S24-05 社会的違反の行為者が表出する感情の育成機能 佐々木 美加 明治大学商学部

口頭発表 第3日 10月12日(月)

口頭発表 S25 自己 (研修室) 9:30~10:45

座長 及川 昌典

- S25-01 関係流動性が自尊心の効果に与える影響(3)
—準実験手法による検討— ○佐藤 剛介 北海道大学大学院文学研究科・日本学術振興会特別研究員
結城 雅樹 北海道大学大学院文学研究科
- S25-02 否定的感情を伴う自己呈示時の呈示者の内的過程 成田 恒代 筑波大学大学院人間総合科学研究科
- S25-03 制御焦点の活性化とポジティブ/ネガティブな自己側面への注目が利得接近傾向と損失回避傾向にもたらす影響 ○尾崎 由佳 東海大学チャレンジセンター
唐沢 かおり 東京大学大学院人文社会系研究科
- S25-04 エージェンシー感覚を導く文化的および自動的経路 ○及川 昌典 日本学術振興会特別研究員・東洋大学社会学部
及川 晴 帝京大学文学部

口頭発表 第3日 10月12日(月)

口頭発表 S26 集団意思決定 (会議室2) 9:30~10:45

座長 荒川 歩

- S26-01 利害対立の調整プロセスとその評価
—「ステークホルダーズ」を用いた検討— 杉浦 淳吉 愛知教育大学教育学部
- S26-02 合議における結果主義的価値観の共有
～Omission bias 課題を用いた検討～ ○習田 明宏 神戸大学大学院人文学研究科
大坪 庸介 神戸大学大学院人文学研究科
- S26-03 『まちづくり』概念の曖昧さからみるまちづくりの 在り方 ○徳植 雅恵 大阪大学大学院人間科学研究科
渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科
諏訪 晃一 大阪大学大学院人間科学研究科
- S26-04 裁判員評議における評議方法が議論される論点数に 与える影響 荒川 歩 名古屋大学大学院法学研究科

口頭発表 第3日 10月12日(月)

口頭発表 S27 組織・産業 (会議室3) 9:30~10:45

座長 後藤 学

- S27-01 日常的な感情制御が判断力に及ぼす影響
— HLM (階層的線形モデル) を用いた組織風土と
の関連の検討 — ○中山 奈緒子 東京大学大学院人文社会系研究科
池田 謙一 東京大学大学院人文社会系研究科
- S27-02 職場においてメンバーが表出すユーモアがソーキュアル・サポートの発生に及ぼす影響
— 看護師を対象として — ○菊地 梓 九州大学大学院人間環境学府
山口 裕幸 九州大学大学院人間環境学研究院
- S27-03 ライフライン企業に対するステークホルダーの信頼性に関する研究
— 山田 貴久 東北大学大学院工学研究科
- S27-04 企業城下町における企業の評価について(2)
— 質問紙調査による検討 — ○北 博之 (株)原子力安全システム研究所
後藤 学 (株)原子力安全システム研究所

口頭発表 第3日 10月12日(月)

口頭発表 S28 リスク (人間科学部・東館 207) 9:30~10:45

座長 中谷内一也

S28-01 疑似科学広告による説得効果への影響要因
—数量的情報提示による否定的影響—
広田 すみれ 東京都市大学環境情報学部

S28-02 アートプロジェクトを通じた減災の身体性に関する
—考察：
宗教性と暴力性の観点から
山口 洋典 同志社大学大学院総合政策科学研
究科

S28-03 大学生の犯罪不安：
性別、被害経験および被害リスク認知から
黒沢 香 東洋大学社会学部

S28-04 リスク論は個人の対策行為を説明できるか
中谷内 一也 同志社大学心理学部

口頭発表 第3日 10月12日(月)

口頭発表 S29 環境問題 (人間科学部・東館303) 9:30~10:45

座長 大沼 進

- S29-01 内モンゴルにおける(生態移民)政策と住民主体システム形成に関する実践研究
—内モンゴル自治区正藍旗の「移民村」を中心に—
- S29-02 親から子への環境配慮の規範・行動の伝播:
縦断的研究(1)
○安藤 香織 奈良女子大学生活環境学部
依藤 佳世 (株)国際経済労働研究所
大沼 進 北海道大学大学院文学研究科
杉浦 淳吉 愛知教育大学教育学部
- S29-03 親から子への環境配慮の規範・行動の伝播:
縦断的研究(2)
○依藤 佳世 (社)国際経済労働研究所
安藤 香織 奈良女子大学生活環境学部
大沼 進 北海道大学大学院文学研究科
杉浦 淳吉 愛知教育大学教育学部
- S29-04 市民参加の手続きが社会的受容に及ぼす影響:
札幌市ごみ減量化施策の事例調査
大沼 進 北海道大学大学院文学研究科

口頭発表 第3日 10月12日(月)

口頭発表 S30 社会的認知② (研修室) 13:30~15:00

座長 工藤恵理子

S30-01 計画錯誤とインパクトバイアスがレポート課題遂行 〇村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
に及ぼす影響 桑山 恵真 一橋大学大学院社会学研究科

S30-02 ネガティブなステレオタイプの抑制におけるリバウンド効果の低減 〇田戸岡 好香 一橋大学大学院社会学研究科
—ステレオタイプの両面価値性に注目した代替思考方略— 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

S30-03 差別被害の表明に相手との関係性が与える影響 〇浅井 暉子 東北大学大学院文学研究科
唐沢 穂 東北大学大学院環境学研究科

S30-04 北京オリンピック大会と国民イメージ(1)
—日本人大学生の結果— 〇佐久間 熊 文教大学情報学部
村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
藤島 喜嗣 昭和女子大学大学院生活機構研究科
大江 朋子 清泉女学院大学人間学部
山下 玲子 武藏大学社会学部
李 岩梅 中国科学院心理学研究所
キム ジュン 一橋大学大学院社会学研究科

S30-05 他者の感情を推測するときの自己中心性
—後悔感情の場合— 工藤 恵理子 東京女子大学現代教養学部

口頭発表 第3日 10月12日(月)

口頭発表 S31 コミュニティ (人間科学部・東館207) 15:10~16:40

座長 石盛 真徳

S31-01 グループ・ダイナミックスとしての集合的想起研究 諏訪 晃一 大阪大学大学院人間科学研究科
に向けて

S31-02 評判の共有と利用における携帯メール利用の効果:
地域間比較の視点から ○小林 哲郎 国立情報学研究所
針原 素子 日本学術振興会・東北大学大学院
文学研究科
高木 大資 東京大学大学院人文社会系研究科

S31-03 過疎地域における住民自治システム構築運動のイン
パクト 高尾 知憲 京都大学大学院人間・環境学研究科
—鳥取県智頭町「ゼロ分のイチ村おこし運動」に関する住民意識調査—

S31-04 コミュニティにおける社会問題の構築過程 加藤 謙介 九州保健福祉大学社会福祉学部
—「地域福祉」と「猫トラブル」の接続に関する事
例—

S31-05 無線コミュニティ・ネットワークによる地域情報化
活動: 石盛 真徳 京都光華女子大学人間科学部
新上五島町と庄原市での事例から

ポスター発表 第1日 10月10日(土)

ポスター発表1 (体育館) 15:50~17:20

在席責任時間 奇数番号: 15:50~16:35 偶数番号: 16:35~17:20

- P01-01 ペットの存在に関する一考察
—ペット尺度再分析— ○松田 光恵 くらしき作陽大学子ども教育学部
石山 玲子 成城大学文芸学部
- P01-02 社会的スキルの違いが感情を伝えるテキストメッセージの理解に及ぼす影響 ○石川 真 上越教育大学大学院学校教育研究科
平田 乃美 白鷗大学教育学部
- P01-03 リフレクシブな状況の定義
—映画撮影とはどのような実践なのだろうか— 土倉 英志 首都大学東京大学院人文科学研究科
- P01-04 組織の謝罪場面における欺瞞性認知を規定する要因 ○高川 風太 関西大学大学院心理学研究科
土田 昭司 関西大学社会学部
- P01-05 不確実な対人場面における情報収集スタイルと自己関係づけの関連 津田 恒充 名古屋大学大学院環境学研究科
- P01-06 他者存在のあり方の違いが笑いの同期に及ぼす影響 ○八重樫 海人 大阪大学大学院人間科学研究科
大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科
- P01-07 非対面コミュニケーションは互恵性と信頼を高めるか
～囚人のジレンマ・ゲームを用いて～ ○藤井 千絵 大阪大学大学院人間科学研究科
藤原 武弘 関西学院大学社会学部
大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科
- P01-08 情報モニタリングによる多属性意思決定における妥協効果の分析 ○菊地 学 立教大学大学院現代心理学研究科
都築 誉史 立教大学現代心理学部
松井 博史 (独)放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター
- P01-09 ポイントによる割引表示に関する価格判断 秋山 学 神戸学院大学人文学部
- P01-10 エコバッグの使用動機の構造分析 ○前田 洋光 神戸親和女子大学発達教育学部
高木 修 関西大学社会学部

ポスター発表 第1日 10月10日（土）

ポスター発表1（体育館） 15:50～17:20

在席責任時間 奇数番号：15:50～16:35 偶数番号：16:35～17:20

- P01-11 暗示的表現による消費者の商品推論の傾向(1)
～「たっぷり」「ひかえめ」などの比較表現による含
有量の推論と情報利用～
○花尾 由香里 東京富士大学経営学部
岡村 一成 東京富士大学経営学部
- P01-12 公共目的にもとづくキャンペーンを効果的にすすめ
るために
東 正訓 追手門学院大学心理学部
- P01-13 選択肢に付与された数値が回答に与える影響
—中間選択肢との関係—
増田 真也 慶應義塾大学看護医療学部
- P01-14 ブログから読み取る環境問題意識の変化
新井 範子 専修大学経営学部
- P01-15 現代の若者における職業選択モデルの構築
—生活意識及び職業価値観に焦点化して—
○渡辺 成
小杉 考司 早稲田大学大学院文学研究科
山口大学教育学部
- P01-16 False Consensus effect と社会的行動の関連
—行動傾向からの検討—
○吉武 久美
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
- P01-17 一般性セルフ・エフィカシーが原因帰属と対処方法
に与える影響
—ネガティブな対人場面での検討—
野口 友希 学習院大学大学院人文科学研究科
- P01-18 社会の変化の認知とその因果的説明
外山 みどり 学習院大学文学部
- P01-19 世論形成における加害者理解について
—原因帰属の視点から—
○今野 順
青木 修次 東京国際大学大学院社会学研究科
東京国際大学人間社会学部
- P01-20 自己開示への被開示者による評価と帰属傾向の関係
○島村 知秀
青木 修次 東京国際大学大学院社会学研究科
東京国際大学人間社会学部

ポスター発表 第1日 10月10日（土）

ポスター発表1（体育館） 15:50～17:20

在席責任時間 奇数番号：15:50～16:35 偶数番号：16:35～17:20

- P01-21 社会的スキルと信頼感を高める対人コミュニケーションプログラムの効果性の検討 ○石井 滋 大阪国際大学人間科学部
 谷口 淳一 帝塚山大学心理福祉学部
 加藤 潤三 大阪国際大学人間科学部
 青野 明子 大阪国際大学人間科学部
 森上 幸夫 大阪国際大学人間科学部
 小牧 一裕 大阪国際大学人間科学部
- P01-22 集団 SST が児童の社会的スキルと学級生活満足感に及ぼす効果 ○吉田 和樹 鳴門教育大学大学院学校教育研究科
 古谷 嘉一郎 比治山大学現代文化学部
- P01-23 中学生を対象としたコミュニケーション・スキル訓練の開発(3)
 —コミュニケーション・スキル、ソーシャル・サポートと精神的健康との関係— 牧野 幸志 摂南大学経営情報学部
- P01-24 高校生のワーク・ライフ・バランスとジェンダー 太田 仁 梅花女子大学現代人間学部
- P01-25 社会人基礎力尺度の作成の試み ○浅井 定雄 目白大学大学院心理学研究科
 西川 千登世 目白大学大学院心理学研究科
 渋谷 昌三 目白大学社会学部
- P01-26 児童におけるコミュニケーション基礎スキルと攻撃行動・抑うつの関連 安達 知郎 東北大学大学院教育学研究科
- P01-27 対人的接近—距離化スキルの機能
 —受け手との親密性別検討— 石井 佑可子 大阪市立大学大学院文学研究科
- P01-28 学級集団と児童・生徒個人に及ぼす教師の影響力 ○三島 美砂 神戸常盤大学短期大学部
 渕上 克義 岡山大学大学院教育学研究科
- P01-29 高校数学教科書の言説分析研究 ハッ塚 一郎 熊本大学教育学部

ポスター発表 第1日 10月10日(土)

ポスター発表1 (体育館) 15:50~17:20

在席責任時間 奇数番号: 15:50~16:35 偶数番号: 16:35~17:20

P01-30 「他者の利得を考慮すること」が規範逸脱行動に及ぼす影響 出口 拓彦 奈良教育大学教育学部

P01-31 Cultural bases of linguistic and stereotypic representations of social groups. Sayaka Suga Nagoya University, Graduate School of Environmental Studies

P01-32 慈悲的差別への接触がもたらす低地位集団員への否定的影響 ○山本 雄大 東北大学大学院文学研究科
大渕 憲一 東北大学大学院文学研究科

P01-33 血液型情報が異性の魅力評定に与える影響 大瀬 幸則 北海道大学大学院文学研究科

P01-34 非人間的ラベリングが対象の感情表出への反応に及ぼす効果 田村 達 東北文化学園大学医療福祉学部

P01-35 北京オリンピック大会と国民イメージ(2)
—愛国心、ナショナリズム、スポーツナショナリズムの影響— ○藤島 喜嗣 昭和女子大学大学院生活機構研究科
佐久間 獻 文教大学情報学部
村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
大江 朋子 清泉女学院大学人間学部
山下 玲子 武藏大学社会学部
李 岩梅 中国科学院心理学研究所
キム ジュン 一橋大学大学院社会学研究科

P01-36 北京オリンピック大会と国民イメージ(3)
—日本人大学生におけるメディア接触の影響— ○山下 玲子 武藏大学社会学部
佐久間 獻 文教大学情報学部
村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
藤島 喜嗣 昭和女子大学大学院生活機構研究科
大江 朋子 清泉女学院大学人間学部
李 岩梅 中国科学院心理学研究所
キム ジュン 一橋大学大学院社会学研究科

ポスター発表 第1日 10月10日(土)

ポスター発表1 (体育館) 15:50~17:20

在席責任時間 奇数番号: 15:50~16:35 偶数番号: 16:35~17:20

P01-37 北京オリンピック大会と国民イメージ(4)

○大江 朋子 清泉女学院大学人間学部
 佐久間 真 文教大学情報学部
 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
 藤島 喜嗣 昭和女子大学大学院生活機構研究科
 山下 玲子 武藏大学社会学部
 李 岩梅 中国科学院心理学研究所
 キム ジュン 一橋大学大学院社会学研究科

P01-38 北京オリンピック大会と国民イメージ(5)
—日本と韓国との間のメタ国民イメージの正確さ—

○キム ジュン 一橋大学大学院社会学研究科
 佐久間 真 文教大学情報学部
 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
 藤島 喜嗣 昭和女子大学大学院生活機構研究科
 大江 朋子 清泉女学院大学人間学部
 山下 玲子 武藏大学社会学部
 李 岩梅 中国科学院心理学研究所

P01-39 Effects of Beijing Olympic Games on international competition

○李 岩梅 中国科学院心理学研究所
 佐久間 真 文教大学情報学部
 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
 藤島 喜嗣 昭和女子大学大学院生活機構研究科
 山下 玲子 武藏大学社会学部
 大江 朋子 清泉女学院大学人間学部
 キム ジュン 一橋大学大学院社会学研究科

P01-40 有名な黒人たちは人種偏見を変えることができるか?
—有名黒人の提示による潜在的人種態度の変容—

○埴田 健司 一橋大学大学院社会学研究科
 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

P01-41 顔の性別認知における肌色の作用とジェンダースキーマ(3)

山田 雅子埼玉女子短期大学

P01-42 自己のポジティブ/ネガティブな出来事の想起が潜在的な態度に及ぼす効果の検討

○石井 国雄 首都大学東京大学院人文科学研究科
 沼崎 誠 首都大学東京大学院人文科学研究科

P01-43 ステレオタイプ化の自覚と潜在的自尊感情の変化
—「ドクター・スマス問題」を用いた検討(2)—

村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

ポスター発表 第1日 10月10日（土）

ポスター発表1（体育館） 15:50～17:20

在席責任時間 奇数番号：15:50～16:35 偶数番号：16:35～17:20

- P01-44 職業評価次元の検討
—職業威信と職業スティグマ—
上瀬 由美子 江戸川大学社会学部

- P01-45 内発的偏見抑制動機がステレオタイプ抑制による逆説的効果の生起に及ぼす影響について
河野 周 上智大学大学院総合人間科学研究科

- P01-46 システム脅威となる外集団の顕現化が女性サブカテゴリーに対する男性の偏見とステレオタイプ化に及ぼす効果
○沼崎 誠 首都大学東京大学院人文科学研究科
高林 久美子 一橋大学大学院社会科学研究科
石井 国雄 首都大学東京大学院人文科学研究科
佐々木 香織 首都大学東京大学院人文科学研究科
天野 陽一 東京都立大学大学院人文科学研究科

- P01-47 社会システムの正当化における相補的ステレオタイプの役割
池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科

- P01-48 ネガティブなステレオタイプの抑制におけるリバウンド効果
—ステレオタイプの両面価値と代替思考に注目して—
○田戸岡 好香 一橋大学大学院社会学研究科
村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

- P01-49 メディアにおける同性愛表現への接触と同性愛者に対する態度
○鈴木 文子 大阪市立大学大学院文学研究科
池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科

- P01-50 ジェンダーステレオタイプが数学に関する態度に及ぼす影響
—年齢と最終学歴に基づく検討—
○唐牛 祐輔 京都大学大学院教育学研究科
楠見 孝 京都大学大学院教育学研究科

- P01-51 ジェンダーステレオタイプが量刑判断に及ぼす影響
について
○本多 悠葵 北海道大学大学院文学研究科
瀧川 哲夫 北海道大学大学院文学研究科

- P01-52 在日コリアンに対する古典的人種差別主義・現代的人種差別主義の検討
○高 史明 東京大学大学院人文社会系研究科
雨宮 有里 法政大学文学部

ポスター発表 第1日 10月10日(土)

ポスター発表2 (体育館) 17:30~19:00

在席責任時間 奇数番号: 17:30~18:15 偶数番号: 18:15~19:00

- P02-01 仮想空間上での外国人ユーザとの接触は外国人イメージを改善するか? ○松尾 由美 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
田島 祥 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
坂元 章 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- P02-02 日韓翻訳チャットコミュニケーションが偏見低減に及ぼす影響 ○松尾 由美 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
坂元 章 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- P02-03 「24時間テレビ 愛は地球を救う」の分析(3)
—インターネット掲示板における書き込みの検討— 山本 明 中部大学人文学部
- P02-04 サイト上の攻撃的書き込みに対する原因帰属:
自己愛傾向と攻撃性, サイト利用状況の影響 吉田 綾乃 東北福祉大学総合福祉学部
- P02-05 企業内ソーシャルネットワーキングサービスと組織内集団間バイアスの関連性について ○山口 由美子 FUJITSU ユニバーシティワークライフデザイン支援室
湯川 進太郎 筑波大学大学院人間総合科学研究科
- P02-06 児童生徒における携帯電話利用(1) 古谷 嘉一郎 比治山大学現代文化学部
- P02-07 インターネットラジオの利用行動
—livedoor ねとらじのログ分析から— 馬場 大輔 東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科
- P02-08 日本におけるうつのしろうと理論:
Yahoo!知恵袋の質問データの分析 ○勝谷 紀子 日本大学文理学部
岡 隆 日本大学文理学部
坂本 真士 日本大学文理学部
- P02-09 協調作業時の心理状態にテレビ電話が与える影響 新井田 統 KDDI研究所ネットワーク設計グループ

ポスター発表 第1日 10月10日(土)

ポスター発表2 (体育館) 17:30~19:00

在席責任時間 奇数番号: 17:30~18:15 偶数番号: 18:15~19:00

P02-10 CMCを介したソーシャル・サポート、自己開示が
自己受容に与える影響の検討 井川 浩佑 一橋大学大学院社会学研究科

P02-11 複数観衆状況における非言語的行動の検討 ○笠置 遊 大阪大学大学院人間科学研究科・
大坊 郁夫 日本学術振興会
大阪大学大学院人間科学研究科

P02-12 呈示相手の文化的背景を考慮した自己呈示の日米比
較 栗林 克匡 北星学園大学社会福祉学部

P02-13 自己呈示場面に用いられることばの抽象度と潜在的
自尊心の関連について 李 珠 東京大学大学院人文社会系研究科

P02-14 就職活動での自己呈示に影響を与える要因の検討 小島 弥生 埼玉学園大学人間学部
(4)
—失敗経験を呈示する場合の記述内容と印象につ
いて—

P02-15 青年期の愛着スタイルが親密な他者への自己開示に
及ぼす影響 ○張 筲 塚本 伸一
大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科
立教大学現代心理学部
大阪大学大学院人間科学研究科

P02-16 内集団他者/外集団他者に対する自己謙遜表出の比
較文化研究(1) ○船越 理沙 岩手県立大学大学院社会福祉学研
究科
潮村 公弘 岩手県立大学社会福祉学部

P02-17 アイデンティティの多様性がレジリエンスにもたら
ず影響 ○田端 拓哉
向井 有理子
宮崎 弦太
池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科・
大阪市立大学大学院文学研究科
UCRC
大阪市立大学大学院文学研究科
UCRC
大阪市立大学大学院文学研究科・
大阪市立大学大学院文学研究科
UCRC・日本学術振興会特別研究員
大阪市立大学大学院文学研究科

P02-18 自己と記憶 ○本田 周二 神戸学院大学人文学部
—Pillemer et al. (2007) の日本における追試(2)— 大久保 譲俊 東洋大学大学院社会学研究科

ポスター発表 第1日 10月10日(土)

ポスター発表2 (体育館) 17:30~19:00

在席責任時間 奇数番号: 17:30~18:15 偶数番号: 18:15~19:00

- P02-19 種々のボディ・イメージと身体関連意識・行動 鈴木 公啓 東洋大学
- P02-20 対人スキルがアイデンティティの確立に及ぼす影響
—コミットメントの役割に着目して— ○徐 侑里 唐沢 穂 名古屋大学大学院環境学研究科
名古屋大学大学院環境学研究科
- P02-21 存在論的恐怖と社会的文脈が誕生日効果に及ぼす影響 脇本 竜太郎 安田女子大学文学部
響
- P02-22 役割遂行への他者からの期待感が自己認知にもたらす影響 ○倉元 俊輝 大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学大学院人間科学研究科
- P02-23 自己認知の多様性と社会的スキル、自己受容との関連
—特性レベルと行動レベルの変化に注目して— ○吉田 琢哉 小川 一美 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
愛知淑徳大学コミュニケーション学部
- P02-24 インテリア空間の自己化のプロセスとそのモデル化の考察 ○松田 奈緒子 加藤 力 京都工芸繊維大学ベンチャーラボラトリ
宝塚造形芸術大学大学院造形メディア研究科
- P02-25 プライバシー次元尺度作成の試み(1) ○佐藤 広英 太幡 直也 筑波大学大学院人間総合科学研究科
東洋大学社会学部
- P02-26 プライバシー次元尺度作成の試み(2)
—プライバシー次元の特徴の検討— ○佐藤 広英 太幡 直也 筑波大学大学院人間総合科学研究科
東洋大学社会学部
- P02-27 プライバシーの捉え方の分類
—プライバシー意識の程度による違い— ○太幡 直也 佐藤 広英 東洋大学社会学部
筑波大学大学院人間総合科学研究科
- P02-28 青年期における自己愛傾向と心理的健康 岡田 涼 日本学術振興会・名古屋大学大学院教育発達科学研究科

ポスター発表 第1日 10月10日（土）

ポスター発表2（体育館） 17:30～19:00

在席責任時間 奇数番号：17:30～18:15 偶数番号：18:15～19:00

P02-29 自尊心、本来感、自己価値の随伴性が適応に及ぼす
影響 長谷川 孝治 信州大学人文学部

P02-30 顕在的・潜在的自尊心が嫉妬および妬みに与える検
討 ○雨宮 有里 法政大学文学部
高 史明 東京大学大学院人文社会系研究科

P02-31 社会的自己制御の形成・促進要因の検討
—対人および達成領域のポジティブ・ネガティブ
経験に着目して— ○原田 知佳 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科・日本学術振興会
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科

P02-32 自己愛と過去の経験に対する原因帰属・感情の関連
性 ○三浦 紘美 筑波大学大学院人間総合科学研究科
吉田 富二雄 筑波大学大学院人間総合科学研究科

P02-33 装いによる身体・生理的ダメージと装い動機スタイルとの関連 箱井 英寿 大阪人間科学大学人間科学部

P02-34 保育における装いの心理的効果の検討 箱井 英寿 大阪人間科学大学人間科学部

P02-35 被服関心と自己・社会に対する価値観との関係 市川(向川)祥子 神戸大学大学院総合人間科学研究
科 (現 人間発達環境学研究科)

P02-36 化粧療法に関する探索的研究
—高齢者を対象とした化粧療法ボランティアに着
目して— ○小栗 亜耶乃 関西大学大学院心理学研究科
高木 修 関西大学社会学部

P02-37 社会的スキルとしての規範適合的被服選択の過程に
関する検討
—職場での人間関係を良好にする被服による印象
管理に注目して— ○中川 由理 関西大学大学院心理学研究科
高木 修 関西大学社会学部

P02-38 化粧タイプと受け手の個人要因に関する研究
—受け手の化粧度との関係から— 金 晴希 大阪大学大学院人間科学研究科

ポスター発表 第1日 10月10日(土)

ポスター発表 2 (体育館) 17:30~19:00

在席責任時間 奇数番号: 17:30~18:15 偶数番号: 18:15~19:00

P02-39 道徳的自己価値の操作が向社会的行動に及ぼす影響 ○峯 聖二 神戸大学大学院人文学研究科
大坪 庸介 神戸大学大学院人文学研究科

P02-40 看護学生における患者の感情状態の推測に関する研究 松浦 均 三重大学教育学部

P02-41 日本語版 COPE 尺度の作成 ○大塚 泰正 広島大学大学院教育学研究科
鈴木 綾子 (財)鉄道総合技術研究所人間科学
研究部

P02-42 就労支援施設を利用する精神障害者とその支援者の就労観は特殊か
～就労観の大学生と精神障害者及びその支援者間比較～ 飯嶋 慧 東洋大学大学院社会学研究科

P02-43 自分のため時間と心理的 Well-being に関する検討 ○西川 千登世 目白大学大学院心理学研究科
— SOT 尺度の作成の試みと Enthusiasm との関連 — 渋谷 昌三 目白大学社会学部

P02-44 患者満足度を規定する要因の検討
— 医療従事者間の協力行動は患者の目にどう映る？ — ○早瀬 良 広島大学大学院総合科学研究科
坂田 桐子 広島大学大学院総合科学研究科
高口 央 流通経済大学社会学部

P02-45 遺族の死別後の主観的变化に影響する要因 河野 由美 畿央大学健康科学部

P02-46 確認コミュニケーション促進要因の検討 (1)
～看護師チームに着目して～ ○鬼塚 佳奈子 関西大学大学院社会学研究科
高木 修 関西大学社会学部

P02-47 祖父母との関係が大学生の高齢者意識に及ぼす影響
(4)
— 大学生とその母親のペアデータからの検討 — ○水上 喜美子 仁愛大学人間学部
岩淵 千明 川崎医療福祉大学医療福祉学部

P02-48 孫と接触頻度および祖父母役割満足度の規定因 中原 純 大阪大学大学院人間科学研究科

P02-49 転機の社会心理学
— 人は還暦で人生をどう振り返るか — ○山崎 剛信 岩手県立大学大学院社会福祉学研究科
細江 達郎 岩手県立大学社会福祉学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表3（体育館） 9:00～10:30

在席責任時間 奇数番号：9:00～9:45 偶数番号：9:45～10:30

- P03-01 締切までの時間的距離感と制御焦点が作業時間計画 ○尾崎 由佳 東海大学チャレンジセンター
にもたらす影響 樋口 収 一橋大学大学院社会学研究科
- P03-02 他者の行動予測における検索容易性効果 ○織田 涼 立命館大学大学院文学研究科
八木 保樹 立命館大学文学部
- P03-03 ステレオタイプの意識的抑制と非意識的抑制の相違 ○山本 真菜 日本大学大学院文学研究科
—日本人女子大学生ステレオタイプを用いた追 岡 隆 日本大学文理学部
試 —
- P03-04 結果関連関与が意思決定におけるネガティビティ・ ○小澤 拓大 専修大学大学院文学研究科
バイアスの強度に及ぼす影響 下斗米 淳 専修大学文学部
- P03-05 「幸運」は共同作業でも持続するか？ 村上 幸史 神戸山手大学現代社会学部
—運に関する統制感の研究 その7—
- P03-06 規範の遵守・信奉による不適応問題に関する研究 ○上原 依子 大阪大学大学院人間科学研究科
—規範認知が規範的行動への評価低下におよぼす 釘原 直樹 大阪大学大学院人間科学研究科
影響 —
- P03-07 物語への移入が中間広告の評価に及ぼす影響 ○小森 めぐみ 一橋大学大学院社会学研究科
—物語と広告の関連性による調整効果の検討— 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科
- P03-08 感情予測が防災行動に対する動機づけに及ぼす影響 ○野田 理世 東海学院大学人間関係学部
元吉 忠寛 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
- P03-09 多面的単純接触効果(1) ○川上 直秋 筑波大学大学院人間総合科学研究科
—多角度顔写真への閾下での反復接触が人物評価 吉田 富二雄 筑波大学大学院人間総合科学研究科
に及ぼす効果—

ポスター発表 第 2 日 10月 11 日 (日)

ポスター発表 3 (体育館) 9:00~10:30

在席責任時間 奇数番号: 9:00~9:45 偶数番号: 9:45~10:30

P03-10 感情改善期待感がメッセージ処理に及ぼす影響 田中 知恵 昭和女子大学人間社会学部

P03-11 IAT を用いたシャイネス査定の試み (2)
 ○藤井 勉 学習院大学大学院人文科学研究科・
 杉森 伸吉 CRET 教育テスト研究センター
 相川 充 東京学芸大学教育学部・CRET
 教育テスト研究センター
 東京学芸大学大学院教育学研究科・
 CRET 教育テスト研究センター

P03-12 自己判断への注目が視点取得に及ぼす効果 ○瀧澤 純 首都大学東京大学院人文科学研究科
 沼崎 誠 首都大学東京大学院人文科学研究科

P03-13 競争的、非競争的な集団間関係が合意性推定に及ぼす影響 田村 美恵 神戸市外国語大学外国語学部
 一手がかり情報の違いとの関連で —

P03-14 ポジティブムードが制御資源の回復に及ぼす影響 ○渡邊 さおり 一橋大学大学院社会学研究科
 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

P03-15 選択項目数の違いが選択の満足度に及ぼす影響 ○馬場 洋香 一橋大学大学院社会学研究科
 一カスタマイズという商品選択方法を用いた検討 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

P03-16 嘘をついたときの透明性の錯覚における制御焦点の効果 ○奥川 裕 東京女子大学大学院人間科学研究科
 工藤 恵理子 東京女子大学現代教養学部

P03-17 ネガティブな出来事における後知恵バイアスの 2 側面 ○桑山 恵真 一橋大学大学院社会学研究科
 —自己関連性が事後の必然性評価と予測可能性評価に及ぼす影響— 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

P03-18 インパクトバイアスの低減方略の検討 ○桑山 恵真 一橋大学大学院社会学研究科
 —心理的免疫システムの考慮によってインパクトバイアスは低減するか?— 村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

P03-19 日本文化における自己肯定化: 認知的不協和場面での検討 ○神原 歩 関西大学大学院心理学研究科
 —脅威と肯定化領域との関連の有無に焦点をあてて— 遠藤 由美 関西大学社会学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表3（体育館） 9:00～10:30

在席責任時間 奇数番号：9:00～9:45 偶数番号：9:45～10:30

- P03-20 制御資源の枯渀と楽観主義傾向が目標の進展の知覚に及ぼす影響 ○樋口 収 渡邊 さおり 尾崎 由佳 一橋大学大学院社会学研究科
一橋大学大学院社会学研究科 東海大学チャレンジセンター
- P03-21 推論・判断課題における直観的処理過程と分析的処理過程 ○松崎 圭佑 古屋 健 首都大学東京大学院人文科学研究科
群馬大学教育学部
- P03-22 競争的な場面における目標志向性(5)
—競争者の類型による比較— 太田 伸幸 中部大学現代教育学部
- P03-23 会話中の表情が魅力に与える影響
—微笑みと笑い顔の比較— 日比野 桂 高知大学人文学部
- P03-24 ステレオタイプ的「カナダ人」像を規定する社会的因素 ○塙本 早織 唐沢 穂 名古屋大学大学院環境学研究科
名古屋大学大学院環境学研究科
- P03-25 大学生の入学後における対人的な信頼感・不信感の変化(1)
—上回生との比較を通しての検討— 水野 邦夫 帝塚山大学心理福祉学部
- P03-26 大学生の入学後における対人的な信頼感・不信感の変化(2)
—1年間の追跡調査による検討— 水野 邦夫 帝塚山大学心理福祉学部
- P03-27 対人認知における相補性の生起過程に関する研究 ○矢田 尚也 池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科
大阪市立大学大学院文学研究科
- P03-28 ふつうの子・ふつうではない子のイメージ：
中学生・大学生の比較 大橋 恵 東京未来大学こども心理学部
- P03-29 相貌から読み取られる性格の情報(III)
顔の部位が印象に与える影響 益谷 真 敬和学園大学人文学部

ポスター発表 第2日 10月11日(日)

ポスター発表3 (体育館) 9:00~10:30

在席責任時間 奇数番号: 9:00~9:45 偶数番号: 9:45~10:30

P03-30 交差カテゴリーを用いたステレオタイプの活性化が
対人認知に与える影響 ○島影 麻耶 学習院大学文学部
外山 みどり 学習院大学文学部

P03-31 他者の言葉が女子大学生の瘦身願望に及ぼす影響 釜谷 真理恵 昭和女子大学大学院生活機構学研究科

P03-32 社会的排除が将来の排除可能性知覚に及ぼす影響 清水 三千香 昭和女子大学大学院生活機構学研究科

P03-33 男性的行動をする女性刺激人物と男性刺激人物に対して形成される印象の差異の検討 笹山 郁生 福岡教育大学教育学部

P03-34 説得メッセージの時間的距離がリスク認知に及ぼす影響 ○原島 雅之 千葉大学地域観光創造センター
樋口 収 一橋大学大学院社会学研究科

P03-35 原子力発電の安全性に対する信頼の調査 ○塩谷 尚正 関西大学大学院社会学研究科
土田 昭司 関西大学社会学部
辻川 典文 関西大学大学院社会学研究科

P03-36 原子力発電に対する市民のリスク検討行動の規定因 ○辻川 典文 関西大学大学院社会学研究科
土田 昭司 関西大学社会学部
塩谷 尚正 関西大学大学院社会学研究科

P03-37 エルスバーグの2色問題における比較無知効果の再検討 ○足立 邦子 大阪市立大学大学院医学研究科
山 祐嗣 神戸女学院大学人間科学部

P03-38 米国産牛肉と中国製食品に対する認知の日米比較 ○元吉 忠寛 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
George Cvetkovich Western Washington University, Department of Psychology

P03-39 確率表現とフレーミングがリスク認知に及ぼす効果 ○山崎 瑞紀 東京都市大学環境情報学部
吉川 肇子 慶應義塾大学商学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表3（体育館） 9:00～10:30

在席責任時間 奇数番号：9:00～9:45 偶数番号：9:45～10:30

P03-40 災害プライミングが災害関連リスク認知に及ぼす影響について ○北村 英哉 東洋大学社会学部
佐藤 重隆 東洋大学大学院社会学研究科

P03-41 遅延リスクに対する選好の実証的検証
—確率の主観的評価との関連性の検討— ○小室 匠 北海道大学大学院文学研究科
高橋 泰城 北海道大学大学院文学研究科
亀田 達也 北海道大学大学院文学研究科

P03-42 刺激欲求とリスク行動の関連についての検討 古澤 照幸 埼玉学園大学人間学部

P03-43 ステレオタイプ脅威効果の抑制
—社会的比較を用いて— 藏本 知子 学習院大学大学院人文科学研究科

P03-44 社会的比較と最後通牒ゲーム 大久保 暢俊 東洋大学大学院社会学研究科

P03-45 問題解決時の社会的比較傾向が自己向上の動機づけ
に与える影響 ○小池 芙美代 関西大学大学院社会学研究科
土田 昭司 関西大学社会学部

P03-46 負債発生場面における社会的公正
～貢献度と負債発生状況からの検討～ ○滝川 陽一朗 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科

P03-47 PDゲーム行動に及ぼすいじめを受けた経験の影響
(2):
愛他率と搾取率による分析 安念 保昌 愛知みずほ大学人間科学部

P03-48 審容性と私生活志向が社会関係資本に及ぼす効果：
無関心の表れとしての寛容性に注目して ○針原 素子 日本学術振興会・東北大学大学院
文学研究科
小林 哲郎 国立情報学研究所情報社会相関研
究系
高木 大資 東京大学大学院人文社会系研究科

P03-49 分配の望ましさに関する人々の選好
—平等、衡平、パレート原理と成員間格差に着目した検討— ○河口 朋広 北海道大学大学院文学研究科
犬飼 佳吾 北海道大学大学院文学研究科
亀田 達也 北海道大学大学院文学研究科

ポスター発表 第2日 10月11日(日)

ポスター発表4 (体育館) 10:40~12:10

在席責任時間 奇数番号: 10:40~11:25 偶数番号: 11:25~12:10

P04-01 テレビの社会的役割の再検討(1)
—研究目的とウェブ調査結果の概要—

○萩原 滋 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
小城 英子 聖心女子大学文学部
村山 陽 慶應義塾大学大学院社会学研究科
大坪 寛子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
渋谷 明子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
志岐 裕子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所

P04-02 テレビの社会的役割の再検討(2)
—新たなメディアの出現とテレビ視聴—

○志岐 裕子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
萩原 滋 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
小城 英子 聖心女子大学文学部
村山 陽 慶應義塾大学大学院社会学研究科
大坪 寛子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
渋谷 明子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所

P04-03 テレビの社会的役割の再検討(3)
—子ども時代の視聴スタイルの変化—

○渋谷 明子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
萩原 滋 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
小城 英子 聖心女子大学文学部
村山 陽 慶應義塾大学大学院社会学研究科
大坪 寛子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
志岐 裕子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所

P04-04 テレビの社会的役割の再検討(4)
—若者世代にみるメディア利用と有名人知識および出来事知識との関係—

○村山 陽 慶應義塾大学大学院社会学研究科
萩原 滋 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
小城 英子 聖心女子大学文学部
大坪 寛子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
渋谷 明子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
志岐 裕子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表4（体育館） 10:40～12:10

在席責任時間 奇数番号：10:40～11:25 偶数番号：11:25～12:10

- P04-05 テレビの社会的役割の再検討(5)
—テレビ番組視聴経験と世代—
- 大坪 寛子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
小城 英子 聖心女子大学文学部
萩原 滋 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
村山 陽 慶應義塾大学大学院社会学研究科
渋谷 明子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
志岐 裕子 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
- P04-06 テレビの社会的役割の再検討(6)
—北京五輪の記憶と話題の共有—
- 上瀬 由美子 江戸川大学社会学部
萩原 滋 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所
李 光鎬 慶應義塾大学文学部
- P04-07 ニュース映像の記憶と感情反応
—北朝鮮報道を対象として—
- 李 光鎬 慶應義塾大学文学部
- P04-08 犯罪報道が予測犯罪発生件数および予測犯罪被害率に及ぼす影響(2)
—1年後のフォローアップ調査の結果—
- 堀内 由樹子 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
坂元 章 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- P04-09 「イチロー 3,085 安打で日本記録に並ぶ」ニュースの伝播過程
- 竹中 一平 岡山短期大学
- P04-10 テレビ視聴が子どもの勤労観に及ぼす影響
- 田島 祥 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
坂元 章 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- P04-11 冷凍食品薬物混入事件の新聞報道内容分析
- 鈴木 靖子 成城大学文芸学部
- P04-12 テレビニュース・ワイドショー・情報番組視聴の利用と満足
—テレビニュース番組の娯楽化傾向の視点から—
- 川端 美樹 目白大学社会学部

ポスター発表 第2日 10月11日(日)

ポスター発表4 (体育館) 10:40~12:10

在席責任時間 奇数番号: 10:40~11:25 偶数番号: 11:25~12:10

- P04-13 夫婦間の「絆」と夫婦関係満足度および親子関係満足度との関連性について ○戸口 愛泰 高木 修 大阪国際大学人間科学部
関西大学社会学部
- P04-14 未就学児をもつ中国人母親の出産意欲に関連する要因の検討 —母親が抱く子どもの価値観および育児ストレスに着目して— ○山中 淑子 高木 修 関西大学大学院心理学研究科
関西大学社会学部
- P04-15 態度予測の正確さが相手の魅力に及ぼす影響 ○西浦 真喜子 大阪大学大学院人間科学研究科
大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科
- P04-16 友人関係における自己評価維持傾向 —時系列データからの検討— 下田 俊介 東洋大学大学院社会学研究科
- P04-17 身近な第三者との関わりによる対人ストレス対処の効果 —対人ストレッサーに喚起された否定的感情の質的違いに注目して— 高橋 幸子 筑波大学大学院人間総合科学研究科
- P04-18 首尾一貫感覚が恋愛関係における葛藤時のサポート希求に及ぼす影響 浅野 良輔 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
- P04-19 誕生日とは何か —誕生日意識に関する予備調査— 川浦 康至 東京経済大学コミュニケーション学部
- P04-20 回想的調査面接による大学生の新旧友人関係に関する研究 —一番親しい友人の選択の差異が友人関係に及ぼす影響について— ○渡邊 舞 今川 民雄 北星学園大学大学院社会福祉学研究科
北星学園大学社会福祉学部
- P04-21 大学生における恋愛規範意識 國仲 瞳 IBM ビジネスコンサルティングサービス(株)
- P04-22 付き合っていた異性とのその後の関係(2) ○山口 司 今川 民雄 北星学園大学大学院社会福祉学研究科
北星学園大学社会福祉学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表4（体育館） 10:40～12:10

在席責任時間 奇数番号：10:40～11:25 偶数番号：11:25～12:10

P04-23 友人ネットワークサイズが社会的自尊心に与える影響
—日米の比較— 宮本 聰介 明治学院大学心理学部

P04-24 かけがえのなさが他者への頼らなさをもたらす？ 相馬 敏彦 川口短期大学

P04-25 恋愛における問題状況での理想の行動と実際の行動 相羽 美幸 筑波大学大学院人間総合科学研究科

P04-26 友人関係の初期分化の維持とその規定因 風間 文明 十文字学園女子大学人間生活学部

P04-27 友人との葛藤後の関係変化とパーソナリティ
—仮想的有能感および自尊感情との関係— ○高木 邦子 聖隸クリストファー大学社会福祉
安藤 史高 学部
一宮女子短期大学

P04-28 友人とのつきあい方と被服行動の関連
—被服が友人関係形成に及ぼす影響の探索的検討— ○高木 麻未 関西大学大学院社会学研究科
高木 修 関西大学社会学部

P04-29 大学生の友人関係における消極的関係維持(3) ○安藤 史高 一宮女子短期大学
高木 邦子 聖隸クリストファー大学社会福祉
学部

P04-30 ママ友関係への動機づけに関する検討 中山 満子 奈良女子大学大学院人間文化研究科

P04-31 道端の植物を発端とした対人的事態の展開における acquaintance についての理論的考察 光安 輝高 九州大学大学院人間環境学府

P04-32 犯罪プライミングと防犯意識が被害回避行動に及ぼす影響 ○小林 麻衣 東洋大学大学院社会学研究科
北村 英哉 東洋大学社会学部
及川 昌典 日本学術振興会特別研究員・東洋大
学社会学部

ポスター発表 第2日 10月11日(日)

ポスター発表 4 (体育館) 10:40~12:10

在席責任時間 奇数番号: 10:40~11:25 偶数番号: 11:25~12:10

- P04-33 二者間会話におけるポジティブ感情の機能
—社会的スキルとの関係— ○藤原 健 大阪大学大学院人間科学研究科
大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科
- P04-34 ごはん craving とごはんの剥奪との関係 ○小松 さくら 同志社大学大学院文学研究科
青山 謙二郎 同志社大学心理学部
- P04-35 喚起感情が説得効果に及ぼす影響 佐々木 香織 首都大学東京大学院人文科学研究科
- P04-36 他者との親密さが妬みの強さに及ぼす影響 塩田 伊都子 十文字学園女子大学(非常勤)
- P04-37 特性共感性があがり喚起状況における主観的感情体験と課題遂行に及ぼす影響
—観察者のフィードバックに着目して— ○山中 咲耶 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
- P04-38 親近性バイアスの影響に着目した共感の再考:
「共感域」の導入と測定の試み ○前村 奈央佳 関西学院大学大学院社会学研究科
藤原 武弘 関西学院大学社会学部
- P04-39 誘惑を目にしたらガマグチを閉じる!
制御資源と節約実行意図が衝動買いの抑制に及ぼす効果 道家 瑞見子 亜細亜大学短期大学部
- P04-40 コンドーム使用促進に関する心理学的研究(10)
～VTRを使用したコンドーム購入トレーニングの効果～ ○樋口 匠貴 広島大学大学院教育学研究科
中村 菜々子 兵庫教育大学発達心理臨床研究センター
- P04-41 表出による感情プライミング効果の低減 ○及川 晴 帝京大学文学部
及川 昌典 日本学術振興会特別研究員・東洋大学社会学部
- P04-42 後悔情動に対する反すう効果の実験的研究 八田 武俊 岐阜医療科学大学保健科学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表4（体育館） 10:40～12:10

在席責任時間 奇数番号：10:40～11:25 偶数番号：11:25～12:10

P04-43 他者からの受容認知が対人場面における不安および効力感に与える影響 西村 洋一 北陸学院大学人間総合学部

P04-44 感謝生起状況における評価の類型化 ○藏永 瞳 広島大学大学院教育学研究科
樋口 匠貴 広島大学大学院教育学研究科
五十嵐 瞳 広島大学大学院教育学研究科

P04-45 ポジティブな出来事における不確実性がポジティブ ムードの持続に与える影響 ○井上 裕珠 一橋大学大学院社会学研究科
村田 光二 一橋大学大学院社会学研究科

P04-46 目標伝染における重要他者の役割 ○與儀 貴士 大阪市立大学大学院文学研究科
池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科

P04-47 看護職の職務動機づけに影響を及ぼす要因(3)
—阻害・促進要因の強度と経験年数に基づく比較— 戸梶 亜紀彦 広島大学大学院社会科学研究科

P04-48 看護職の職務動機づけに影響を及ぼす要因(4)
—阻害・促進要因の因子構造と経験年数に基づく比較— 戸梶 亜紀彦 広島大学大学院社会科学研究科

P04-49 自己愛と屈辱感、羞恥感、罪悪感との関係性(2) 薊 理津子 聖心女子大学大学院文学研究科

P04-50 気分状態と課題のストップ・ルールが課題遂行の持続に及ぼす影響 ○佐藤 重隆 東洋大学大学院社会学研究科
北村 英哉 東洋大学社会学部

P04-51 The Effects of Public Self-Consciousness on Domain-Specific Apathy among Japanese University Students Yuki Osanai Taisho University, Graduate School of Advanced Human Studies

P04-52 屈辱の生起状況 ○五十嵐 瞳 広島大学大学院教育学研究科
樋口 匠貴 広島大学大学院教育学研究科

ポスター発表 第 2 日 10月 11 日 (日)

ポスター発表 4 (体育館) 10:40~12:10

在席責任時間 奇数番号: 10:40~11:25 偶数番号: 11:25~12:10

P04-53 集団的罪悪感・恥の機能的差異に関する検討:
○浅野 徹 大阪市立大学大学院文学研究科
池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科
暗懲との関連から

P04-54 成長のきっかけで体験した感情・その後の行動や経験・成長を測定する尺度の妥当性の検証 山影 有利佐 筑波大学大学院人間総合科学研究科

P04-55 テレビゲーム使用が第三者の言動・行動、思考、感情についての予測に及ぼす影響 ○山岡 あゆち お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所
坂元 章 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所

P04-56 恥意識の社会適応機能に関する研究 永房 典之 東京文化短期大学
—共感性、行動基準、社会的欲求からの検討—

P04-57 場面におけるシャイネスの対人不安傾向と対人消極傾向について ○下津 慶一 鹿児島大学大学院教育学研究科
有倉 巳幸 鹿児島大学教育学部
—BIS/BAS の観点から—

P04-58 制御焦点が多目的状況での制御資源の配分に与える影響 ○竹橋 洋毅 名古屋大学大学院環境学研究科
唐沢 かおり 東京大学大学院人文社会系研究科

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表 5 （体育館） 16:10～17:40

在席責任時間 奇数番号：16:10～16:55 偶数番号：16:55～17:40

P05-01 「自立」というジレンマ I:
新聞記事分析から ○青木 千帆子 大阪大学大学院人間科学研究科
渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科

P05-02 大学生における日本社会の将来展望 林 幹也 明星大学人文学部

P05-03 進化心理学による包括適応度と自殺念慮の関係の検討 岡元 陽一 国際基督教大学大学院教育学研究科

P05-04 ホームレス経験者 彼らのエース ○堀江 尚子 大阪大学大学院人間科学研究科
渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科

P05-05 コミュニティにおける自殺への対応と背景要因 川野 健治 国立精神・神経センター精神保健
研究所自殺予防総合対策センター

P05-06 「SNG: 就職活動編」の開発と実践 ○西村 太志 広島国際大学心理科学部
柳澤 邦昭 広島大学大学院総合科学研究科

P05-07 調査回答者は特殊な人か？ 渡辺 庸人 (株)ビデオリサーチ
—調査への参加態度と世論調査への回答との関連についての検討—

P05-08 世界平和の実現可能性の信念とその関連要因 源氏田 憲一 実践女子大学（非常勤）
—社会関係要因を中心に—

P05-09 有権者の政治意識と政治情報源の利用 李 津娥 東京女子大学現代教養学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表 5 （体育館） 16:10～17:40

在席責任時間 奇数番号：16:10～16:55 偶数番号：16:55～17:40

P05-10 政治知識が選挙認知に及ぼす影響

山田 一成 法政大学社会学部

P05-11 抗議行動の規定因：

不公正感、社会不变信念、社会的効力感、変革コストの影響

○川嶋 伸佳 東北大学大学院文学研究科・日本
学術振興会特別研究員
熊谷 智博 東北大学大学院文学研究科
浅井 暢子 東北大学大学院文学研究科
大渕 憲一 東北大学大学院文学研究科

P05-12 他視点取得と攻撃行動

○常岡 充子 東京大学大学院人文社会系研究科
高野 陽太郎 東京大学大学院人文社会系研究科

P05-13 攻撃行動に対する反応が怒りの増減に及ぼす影響

○中西 誠 関西大学大学院心理学研究科
高木 修 関西大学社会学部

P05-14 大学生における攻撃性を喚起させる要因と攻撃手段
の性差

田中 千絵 学習院大学大学院人文科学研究科

P05-15 赤土流出問題に対する村落住民と都市住民の環境配慮行動の相違

○加藤 潤三 大阪国際大学人間科学部
野波 寛 関西学院大学社会学部
中谷内 一也 同志社大学心理学部

P05-16 環境問題に関する認知が環境への態度に及ぼす影響
—内モンゴル自治区住民の民族間比較を中心に—

○坂本 剛 名古屋産業大学環境情報ビジネス
学部
石橋 健一 名古屋産業大学環境情報ビジネス
学部
高間 剛 Stockholm Environment Institute,
Oxford office

P05-17 森林ボランティア団体の活動を維持させる要因の検討

○加藤 千普 東洋大学大学院社会学研究科
大島 尚 東洋大学社会学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表5（体育館） 16:10～17:40

在席責任時間 奇数番号：16:10～16:55 偶数番号：16:55～17:40

P05-18 地域循環型社会の形成に関する研究－その6－ 循環型社会形成に向けた課題と展望 仁科 信春 福岡工業大学社会環境学部

P05-19 ワーク・ファミリー・コンフリクトと職業的アイデンティティを介した、就業継続意思に及ぼすメンタリングの効果：育児中の女性正社員を対象として 児玉 真樹子 広島大学大学院教育学研究科

P05-20 日本の大学生を対象としたキャリア成熟尺度作成の試み(2) —属性変数と尺度得点の関連の探索— ○中込 充信 東京国際大学大学院社会学研究科 塩川 聰子 東京国際大学大学院社会学研究科 斎藤 由夏 東京国際大学大学院社会学研究科 角山 剛 東京国際大学人間社会学部

P05-21 キャリア教育科目受講前後の勤労観および仮想的有能感の変化 植村 善太郎 福岡教育大学教育実践総合センター

P05-22 情報提供の方針の説明が受信者の評価に与える影響 ○山内 香奈 (財)鉄道総合技術研究所人間科学研究部 村越 晓子 (財)鉄道総合技術研究所人間科学研究部

P05-23 飲食店従業員の感情労働と客からの感謝・賞賛が職務満足感に及ぼす影響 須賀 知美 目白大学大学院心理学研究科

P05-24 ストレッサー —ストレス反応関係に労働価値観が及ぼす影響— ○江口 圭一 戸梶 亜紀彦 広島大学大学院社会科学研究科

P05-25 家庭・学校・地域における「子育ち」コミュニティの再生に関する実践研究 ○田中 優 大妻女子大学人間関係学部 泊 真児 大妻女子大学人間関係学部 西河 正行 大妻女子大学人間関係学部 向井 敦子 大妻女子大学人間関係学部 八城 薫 大妻女子大学人間関係学部

ポスター発表 第2日 10月11日(日)

ポスター発表5 (体育館) 16:10~17:40

在席責任時間 奇数番号: 16:10~16:55 偶数番号: 16:55~17:40

P05-26	近所付き合いと安心・安全に関する研究 —歴史資産と地域コミットメントの効果—	○松田 沙耶香 井上 佳朗	鹿児島大学大学院人文社会科学研究科 鹿児島大学法文学部
P05-27	居住地における協力行動の促進 —歴史資産と地域コミットメントの効果—	○引地 博之 大渕 憲一 青木 俊明	東北大学大学院文学研究科 東北大学大学院文学研究科 東北工業大学ライフデザイン学部
P05-28	私設公共空間による食育コミュニティの創造 ～京都・さいりん館でのデシジョン・メーリング (1)～	○西村 和代 山口 洋典	同志社大学大学院総合政策科学研究科 同志社大学大学院総合政策科学研究科
P05-29	中心市街地活性化協議会のネットワークが地域活性化対策に及ぼす影響	稻垣 佑典	東北大学大学院文学研究科
P05-30	心の中のパッサージュ —商店街の社会心理学的機能—	○川上 善郎 川浦 康至 高橋 尚也	成城大学文芸学部 東京経済大学コミュニケーション学部 日本学術振興会・早稲田大学
P05-31	地域活動イメージから見た地域活動参加意欲に関する研究	○森園 明日香 井上 佳朗	鹿児島大学大学院人文社会科学研究科 鹿児島大学法文学部
P05-32	情報システムの市民参加型開発と普及	中村 雅子	東京都市大学環境情報学部
P05-33	在宅での看取りの質が遺族の悲嘆プロセスに及ぼす影響の社会心理学的研究 —在宅で看取った遺族たちの Unfinished Task への取り組みと悲嘆の継時的变化に焦点をあてて—	○佐藤 貴之 高木 修	関西大学大学院心理学研究科 関西大学社会学部
P05-34	パーソナリティ・サイエンスに向けた対人関係モデルの再検討	渋谷 和彦	(独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表5（体育館） 16:10～17:40

在席責任時間 奇数番号：16:10～16:55 偶数番号：16:55～17:40

- P05-35 「社会的かしこさ」に関する研究(15)
—社会適応観との関連性—
○久光 達也 川崎医療福祉大学大学院医療福祉
学研究科
岩淵 千明 川崎医療福祉大学医療福祉学部
- P05-36 「社会的かしこさ」に関する研究(16)
—個人内適応度と対人適応度への因果モデルへの
検討—
○岩淵 千明 川崎医療福祉大学医療福祉学部
久光 達也 川崎医療福祉大学大学院医療福祉
学研究科
- P05-37 自己および他者に対する面子配慮と心身症状、敵意 林 純姫 放送大学
との関係について
- P05-38 親しさの証として喜ばれる大人の甘え 新谷 優 法政大学グローバル教養学部
- P05-39 ライバル認知の生起過程に関する研究 太田 伸幸 中部大学現代教育学部
—半構造化面接を用いた事例的検討—
- P05-40 聞き上手さと状態自己消耗が社会的排斥の意思決定 宮崎 貴子 立教大学現代心理学部
に及ぼす効果
- P05-41 相互作用の互酬性と抑うつの関連 古谷 嘉一郎 比治山大学現代文化学部
- P05-42 他者の攻撃能力を低下させる表情としての微笑み 田村 亮 埼玉学園大学人間学部
- P05-43 説明量の違いが対象指示の伝達成功の推測と現実に 武田 美亜 青山学院女子短期大学
及ぼす影響

ポスター発表 第2日 10月11日(日)

ポスター発表5 (体育館) 16:10~17:40

在席責任時間 奇数番号: 16:10~16:55 偶数番号: 16:55~17:40

P05-44 食の社会的促進実験
—食材の盛りつけ方の違いの検討— ○山崎 真理子 同志社大学大学院文学研究科
青山 謙二郎 同志社大学心理学部

P05-45 嘘の原因帰属による対人関係の変容性の検討
—感情・信頼感との関係— ○三上 聰美 九州大学大学院人間環境学府
山口 裕幸 九州大学大学院人間環境学研究院

P05-46 協力場面と競争場面における無意識的模倣 工藤 恵理子 東京女子大学現代教養学部

P05-47 怒りの表出:
ダブルバインド vs. ストレート表現 ○田中 寿夫 千葉県子どもと親のサポートセンター
神 信人 淑徳大学総合福祉学部

P05-48 コミュニケーション行動特性を基準とした話者役割
タイプの分類 藤本 学 久留米大学文学部

P05-49 世代の違いによるコミュニケーション観の差異の検討 岡本 香 東海学院大学健康福祉学部

P05-50 2者間対話場面における話題と聞き手の姿勢が話者
に与える印象 ○大根 一貴 大阪大学大学院人間科学研究科
三浦 麻子 関西学院大学文学部
大坊 郁夫 大阪大学大学院人間科学研究科

P05-51 親との政治的会話と子どもの政治的有効性感覚の関連 ○大高 瑞郁 東京大学大学院人文社会系研究科
唐沢 かおり 東京大学大学院人文社会系研究科

P05-52 観察者の存在が二者間の感情コミュニケーションに
及ぼす影響(2) 山本 恭子 神戸学院大学人文学部

ポスター発表 第2日 10月11日（日）

ポスター発表5（体育館） 16:10～17:40

在席責任時間 奇数番号：16:10～16:55 偶数番号：16:55～17:40

- P05-53 職場におけるネガティブ・フィードバックの効果
—どのような内容や言い方、上司、職場であれば効用を持ちうるのか—

- P05-54 発話の重なりと会話事態の認知

○牛田 梨恵香 愛知淑徳大学大学院心理学研究科
小川 一美 愛知淑徳大学コミュニケーション学部
斎藤 和志 愛知淑徳大学コミュニケーション学部

- P05-55 コミュニケーション力に関する多面的測定の試み
—講義による知識提供が会話意識および基本スキルに及ぼす影響—

○小川 一美 愛知淑徳大学コミュニケーション学部
磯 友輝子 東京未来大学こども心理学部
木村 昌紀 神戸学院大学人文学部

- P05-56 背反情報のコミュニケーションとその伝達
—初期情報の優位性—

宮本 聰介 明治学院大学心理学部

- P05-57 言語表現に隠された書き手の意図を人はいかにして読み取るのか
—言語的カテゴリーモデルによる検討—

○前川 涼子 大阪市立大学大学院文学研究科
池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科

- P05-58 ウェブログを書くことが精神的・身体的健康に及ぼす効果

○三浦 由美子 千葉大学大学院自然科学研究科
小口 孝司 立教大学現代心理学部

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表 6 (体育館) 13:30~15:00

在席責任時間 奇数番号: 13:30~14:15 偶数番号: 14:15~15:00

P06-01 変革型リーダーシップの有効性に関する実証的研究 神谷 恵利子 立正大学大学院心理学研究科

P06-02 スクールリーダーのアセスメント能力とビリーフの
関係 ○鎌田 雅史 兵庫教育大学大学院連合学校教育
渕上 克義 学研究科
迫田 裕子 岡山大学大学院教育学研究科
岡山大学大学院文化科学研究科

P06-03 「ふつう」からみた分配行動(7) ○黒石 憲洋 日本教育大学院大学学校教育研究科
佐野 予理子 国際基督教大学大学院教育学研究科

P06-04 「ふつう」からみた分配行動(8) ○黒石 憲洋 日本教育大学院大学学校教育研究科
佐野 予理子 国際基督教大学大学院教育学研究科

P06-05 「ふつう」じゃない人は自分勝手?: 内集団他者への
対人認知 ○佐野 予理子 国際基督教大学大学院教育学研究科
黒石 憲洋 日本教育大学院大学学校教育研究科
—努力の程度の観点から—

P06-06 集団内における多数派および少数派の立場が集団に
に対する捉え方および感情状態に及ぼす影響 佐野 予理子 国際基督教大学大学院教育学研究科

P06-07 ルール形成プロセスに関する縦断的検討(3)
—高速道路取り締まり施行前後の比較— ○小池 はるか 高田短期大学
高木 彩 千葉工業大学システム科学部
北折 充隆 金城学院大学人間科学部

P06-08 ルール形成プロセスに関する縦断的検討(4)
—規範焦点理論との関連について— ○高木 彩 千葉工業大学システム科学部
小池 はるか 高田短期大学
北折 充隆 金城学院大学人間科学部

P06-09 ルール形成プロセスに関する縦断的検討(5)
—社会考慮・共感性との関連について— ○北折 充隆 金城学院大学人間科学部
小池 はるか 高田短期大学
高木 彩 千葉工業大学システム科学部

P06-10 リーダーの葛藤対処方略に管理目標および課題の困
難度が及ぼす影響 黒川 光流 富山大学人文学部

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表 6 (体育館) 13:30~15:00

在席責任時間 奇数番号: 13:30~14:15 偶数番号: 14:15~15:00

- P06-11 リーダーシップの共有認知とアイデンティティのモラールへの影響 ○高口 央
早瀬 良
坂田 桐子 流通経済大学社会学部
広島大学大学院総合科学研究科
広島大学大学院総合科学研究科
- P06-12 多元的無知に関する探索的研究 ○多賀 恵一
—複数のトピック間で共通して働くメカニズムについて— 大野 俊和 札幌国際大学大学院心理学研究科
群馬社会福祉大学社会福祉学部
- P06-13 リーダー研修がアセスメント能力の改善に及ぼす影響 ○渕上 克義 岡山大学大学院教育学研究科
—新任教頭研修におけるアクションリサーチ研究— 渕上 克義
- P06-14 リーダーの懲罰行動が観察者であるフォロワーの認知に及ぼす影響 ○迫田 裕子 岡山大学大学院文化科学研究科
渕上 克義 岡山大学大学院教育学研究科
—観察者の自己概念と集団効力感の関係—
- P06-15 集団討議場面による量刑判断の変容 ○板山 昂 関西国際大学大学院人間行動学研究科
加藤 潤三 大阪国際大学人間科学部
- P06-16 リーダーの自己犠牲行動がパフォーマンスに及ぼす影響 ○坂田 桐子 広島大学大学院総合科学研究科
高口 央 流通経済大学社会学部
- P06-17 集団問題解決過程に及ぼす集団サイズの影響について ○飛田 操 福島大学人間発達文化学類
- P06-18 集団合議において他成員の顔が見えることの効果 ○松田 昌史 日本電信電話(株)NTTコミュニケーション科学基礎研究所
- P06-19 ゲーミングによる意見調整のプロセスと結果の検討 ○杉浦 淳吉 愛知教育大学教育学部
吉川 肇子 慶應義塾大学商学部
- P06-20 集団・個人の心理的拘泥現象に成功確率が及ぼす効果 ○甲原 定房 山口県立大学生活科学部

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表 6 (体育館) 13:30~15:00

在席責任時間 奇数番号: 13:30~14:15 偶数番号: 14:15~15:00

- P06-21 集団内における対人葛藤とソーシャルスキルとの関連性 ○松尾 和代
山口 裕幸 九州大学大学院人間環境学府
九州大学大学院人間環境学研究院
- P06-22 利他的及び利己的状況における社会的手抜き
—場面想定法による検討— ○阿形 亜子
釘原 直樹 大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学大学院人間科学研究科
- P06-23 集団内・集団間地位が内集団バイアスに及ぼす影響 ○杉浦 仁美
坂田 桐子 広島大学大学院総合科学研究科
広島大学大学院総合科学研究科
- P06-24 集団間代理報復実験パラダイムにおける罰金決定動機 ○繩田 健悟
山口 裕幸 九州大学大学院人間環境学府
九州大学大学院人間環境学研究院
- P06-25 親密な他者と第三者の存在が集合的罪悪感に及ぼす影響 ○後藤 伸彦
唐沢 穎 名古屋大学大学院環境学研究科
名古屋大学大学院環境学研究科
- P06-26 Being a minority in Japan:
Dealing with stigmatized identity Tin Tin Htun Temple University Japan, Psychological Studies and Asian Studies
- P06-27 医師からの尊重と師長からの尊重
—看護師の協力行動および組織への定着を促進するため— ○早瀬 良
坂田 桐子 広島大学大学院総合科学研究科
高口 央 広島大学大学院総合科学研究科
流通経済大学社会学部
- P06-28 階層と課題の不確実性によるリーダーシップ効果の違い 小久保 みどり 立命館大学経営学部
- P06-29 職場の同僚関係における信頼欲求の検討 ○藤原 勇
高木 修 関西大学大学院心理学研究科
関西大学社会学部
- P06-30 看護師のスキル発達活動への参加モデルの検討 ○松本 みゆき
金井 篤子 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
名古屋大学大学院教育発達科学研究所

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表 6 (体育館) 13:30~15:00

在席責任時間 奇数番号: 13:30~14:15 偶数番号: 14:15~15:00

P06-31 組織への信頼評価における組織行動の影響 小杉 素子 (財)電力中央研究所

P06-32 犯罪情報が犯罪不安および防犯対策に及ぼす影響
— 犯罪に対する反応に関する研究(2): 視聴内容から受けけるインパクトを媒介要因として — ○荒井 崇史 筑波大学大学院人間総合科学研究科・日本学術振興会特別研究員
吉田 富二雄 筑波大学大学院人間総合科学研究科

P06-33 犯罪被害者に対する有責性帰属の検討1
— 被害者に対する印象との関連について — ○白岩 祐子 東京大学大学院人文社会系研究科
宮本 聰介 明治学院大学心理学部

P06-34 犯罪被害者に対する有責性帰属の検討2
— 防衛的帰属仮説の検証 — ○白岩 祐子 東京大学大学院人文社会系研究科
宮本 聰介 明治学院大学心理学部

P06-35 大学生の加害行為者とのかかわり方
— 加害行為場面による差異の検討 — ○堀内 亜希 関西大学大学院心理学研究科
高木 修 関西大学社会学部

P06-36 社会関係資本と犯罪の関連についてのマクロ分析 池田 知明 北海道大学大学院文学研究科

P06-37 犯罪被害者が非難される要因の検討
— マスメディア報道による一般人コメントが犯罪評定に与える影響 — ○土井 望 東洋大学大学院社会学研究科
黒沢 香 東洋大学社会学部

P06-38 安心料をどう測るか:
子どもの安全確保システムの分析 石川 久美子 兵庫県立大学大学院応用情報科学
研究科

P06-39 学級雰囲気および学級規範がいじめ加害行動に及ぼす影響 黒川 雅幸 福岡教育大学教育学部

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表 6 (体育館) 13:30~15:00

在席責任時間 奇数番号: 13:30~14:15 偶数番号: 14:15~15:00

- P06-40 ひとりぼっち回避行動の生起プロセスに関する研究 ○大嶽 さと子 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
 三島 浩路 中部大学現代教育学部
 吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
- P06-41 中学生の友人関係・学級雰囲気と「いじめ」の関連 三島 浩路 中部大学現代教育学部
- P06-42 高校生のアルバイトが与える良い影響と悪い影響 三好 美浩 兵庫教育大学教育・社会調査研究センター
 JSPAD 調査に基づいたアルバイト時間の関連性
- P06-43 エンパワーメント評価を用いた学校における評価実践の支援(1): 研究協力承諾のためのデモンストレーションの実施 三好 美浩 兵庫教育大学教育・社会調査研究センター
 池田(岡崎)琴恵 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所
 池田 満 国際基督教大学大学院教育学研究科と評価
- P06-44 教員のためのバーンアウト予防プログラムの開発と効果測定(2): コミュニティ・レベル要因の検討 ○池田 満 国際基督教大学大学院教育学研究科
 池田(岡崎)琴恵 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所
- P06-45 中学生のいじめられ場面での教師へのサポート期待 大西 彩子 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
- P06-46 関係規範の違反と怒り感情: 公正な状況に対する怒り反応 —公正な状況に対する怒り反応— ○上原 俊介 東北大学大学院文学研究科
 中川 知宏 宮城学院女子大学学芸学部
- P06-47 何が対人関係のストレスをもたらすのか(3)
 —関係満足感、有能感への影響— ○高井 次郎 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
 吉田 琢哉 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
 矢崎 裕美子 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
 森泉 哲 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
 橋本 剛 静岡大学人文学部

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表 6 (体育館) 13:30~15:00

在席責任時間 奇数番号: 13:30~14:15 偶数番号: 14:15~15:00

P06-48 何が対人関係のストレスをもたらすのか(4) —対人ストレス過程に対する規範とスキルの効果—	○矢崎 裕美子 吉田 琢哉 森泉 哲 高井 次郎 橋本 剛	名古屋大学大学院教育発達科学研究所 名古屋大学大学院教育発達科学研究所 名古屋大学大学院教育発達科学研究所 名古屋大学大学院教育発達科学研究所 静岡大学人文学部
P06-49 二者関係における葛藤構造および解決方略の定式化 ～相互依存性理論に基づく二者・対称ゲーム構造の理論的考察～	清水 裕士	日本学術振興会・関西学院大学社会学部
P06-50 対人ストレスによる場面選択の違いについて	○犬塚 智咲子 安念 保昌	理科研(株)本社営業第一部 岡崎 営業所 愛知みずほ大学人間科学部
P06-51 関係性による対人葛藤潜在化—顕在化方略の選好	○中津川 智美 高井 次郎	名古屋大学大学院教育発達科学研究所 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
P06-52 侵害者の謝罪に対する被害者と第三者の許し： 社会的目標の観点からの検討	○橋本 剛明 唐沢 かおり 大高 瑞郁	東京大学大学院人文社会系研究科 東京大学大学院人文社会系研究科 東京大学大学院人文社会系研究科
P06-53 ジャーナリストの惨事ストレス(17) —新聞社管理職における職務ストレスとソーシャル・サポート—	○福岡 欣治 松井 豊 安藤 清志 畠中 美穂 結城 裕也 板村 英典	川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 筑波大学大学院総合人間科学研究科 東洋大学社会学部 名城大学人間学部 東洋大学大学院社会学研究科 関西大学大学院社会学研究科

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表 6 (体育館) 13:30~15:00

在席責任時間 奇数番号: 13:30~14:15 偶数番号: 14:15~15:00

P06-54 学校によるサポートに関する就学生と一般留学生の
比較
—サポートの6条件、3タイプ、2領域及び総得点
による分析—

P06-55 過去のサポート提供の想起が、将来のサポート受け
取り時の負担感の予期に及ぼす影響(3)

P06-56 所属調整方略としての内集団の利用に対する文化的
自己観の効果
○中島 健一郎 広島大学大学院総合科学研究科・
日本学術振興会特別研究員
磯部 智加衣 広島大学大学院総合科学研究科
浦 光博 広島大学大学院総合科学研究科

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表7 (体育館) 15:10~16:40

在席責任時間 奇数番号: 15:10~15:55 偶数番号: 15:55~16:40

P07-01	写真投影法による危険認知の把握 (6) ～モザイクグラフによる解析～	○岡本 卓也 林 幸史 藤原 武弘	関西学院大学社会学部 関西学院大学大学院社会学研究科 関西学院大学社会学部
P07-02	写真投影法による危険認知の把握 (7) ～交通に対する子どもの危険認知～	○林 幸史 岡本 卓也 藤原 武弘	関西学院大学大学院社会学研究科 関西学院大学社会学部 関西学院大学社会学部
P07-03	災害イメージと防災行動の関係 —死のイメージがもたらす防災行動の抑制—	豊沢 純子	大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター
P07-04	2つの博物館に見る四川大地震 —圧縮された災害マネジメントサイクル—	○矢守 克也 渥美 公秀 鈴木 勇	京都大学防災研究所 大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科
P07-05	出来事の継続的な記述に関する一考察 ～被災体験の手記から～	○高森 順子 渥美 公秀	大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科
P07-06	大学生の防災行動の実態と防災行動を規定する要因	清水 裕	昭和女子大学人間社会学部
P07-07	発電所勤務者の安全意識・行動と組織内コミュニケーションの関係	長谷川 尚子	(財)電力中央研究所社会経済研究所 ヒューマンファクター研究センター
P07-08	岩手・宮城内陸地震の研究 (I) —栗原市耕英地区を中心として—	水田 恵三	尚絅学院大学総合人間科学部
P07-09	四川大地震被災地への観光: 〈被災地〉の形成	○渥美 公秀 矢守 克也 鈴木 勇	大阪大学大学院人間科学研究科 京都大学防災研究所 大阪大学大学院人間科学研究科
P07-10	住宅用火災警報器設置の抑制要因の検討	村上 史朗	奈良大学社会学部

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表7 (体育館) 15:10~16:40

在席責任時間 奇数番号: 15:10~15:55 偶数番号: 15:55~16:40

P07-11 災害復興に関するアクションリサーチ —新潟県中越地震から5年を迎える被災地から—	○宮本 匠 渥美 公秀	大阪大学大学院人間科学研究科・ 日本学術振興会特別研究員 大阪大学大学院人間科学研究科
P07-12 長期的研究における「終わりのあるフィールドワーク」の意義	○徳植 雅恵 渥美 公秀 諏訪 晃一	大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学大学院人間科学研究科
P07-13 歩行空間に関わる環境特性と危険行為との関連	森 裕樹	関西国際大学大学院人間行動学研究科
P07-14 青年期以前の家庭での食習慣と大学生の伝統食嗜好との関係	○木村 敦 和田 有史 大島 健太郎 岡 隆 壇 一平太	(独)農研機構・食品総合研究所 (独)農研機構・食品総合研究所 日本大学文理学部 日本大学文理学部 (独)農研機構・食品総合研究所
P07-15 不思議現象に対する態度と制御欲求との関連の再検討 —不思議現象に対する態度(18)—	○小城 英子 坂田 浩之 川上 正浩	聖心女子大学文学部 大阪樟蔭女子大学心理学部 大阪樟蔭女子大学心理学部
P07-16 不思議現象を信じる“理由” —不思議現象に対する態度(19)—	○川上 正浩 小城 英子 坂田 浩之	大阪樟蔭女子大学心理学部 聖心女子大学文学部 大阪樟蔭女子大学心理学部
P07-17 大学生の目標達成意欲に関する研究 —大学におけるキャリア支援教育の効果測定に向けて—	○塩川 聰子 中込 充信 齋藤 由夏 角山 剛	東京国際大学大学院社会学研究科 東京国際大学大学院社会学研究科 東京国際大学大学院社会学研究科 東京国際大学人間社会学部
P07-18 「人のモノ化」に関する探索的研究: 対物機能尺度と対人機能尺度の関連性の検討	池内 裕美	関西大学社会学部
P07-19 「厳罰傾向」理解への試み	白井 美穂	東洋大学大学院社会学研究科

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表7 (体育館) 15:10~16:40

在席責任時間 奇数番号: 15:10~15:55 偶数番号: 15:55~16:40

- P07-20 高齢労働者・女性労働者に対する態度
—高齢者と女性に対する視点取得の効果の違い— ○竹内 真純 東京大学大学院人文社会系研究科
唐沢 かおり 東京大学大学院人文社会系研究科
- P07-21 階層的目標の状況変動性(2)
—行動変換・維持状況における目標対応性の検討
1— ○中島 誠 三重大学共通教育センター
吉澤 寛之 岐阜聖徳学園大学教育学部
吉田 琢哉 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
原田 知佳 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
土屋 耕治 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
- P07-22 階層的目標の状況変動性(3)
—行動変換・維持状況における目標対応性の検討
2— ○土屋 耕治 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
吉澤 寛之 岐阜聖徳学園大学教育学部
中島 誠 三重大学共通教育センター
吉田 琢哉 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
原田 知佳 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
- P07-23 経験者の評価が受け手の表象・行動意図に与える影
響
—直接経験者の持つ社会的影響— ○土屋 耕治 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
元吉 忠寛 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
- P07-24 論拠の提示順序・提示段階数、受け手の自我関与度・認知欲求度が説得メッセージへの応諾度に及ぼす影響 今井 芳昭 東洋大学社会学部
- P07-25 説得における欲求喚起意図を含む警告の効果 浅香 徹 明治学院大学大学院社会学研究科
- P07-26 反発理由と個人主義・集団主義の関連:
リアクタンスか「和を乱すから」か 今城 周造 昭和女子大学大学院生活機構研究科

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表7 (体育館) 15:10~16:40

在席責任時間 奇数番号: 15:10~15:55 偶数番号: 15:55~16:40

- P07-27 感謝メッセージと記述的規範が社会的迷惑行為の抑止に与える効果
—メッセージの互恵性効果に着目して— ○油尾 聰子
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研究所
名古屋大学大学院教育発達科学研究所
- P07-28 説得的コミュニケーションによる協力的買い物行動 の誘発について ○鈴木 春菜
藤井 聰 京都大学大学院工学研究科・日本学術振興会特別研究員
京都大学大学院工学研究科
- P07-29 物語付加広告が当該商品の購買意欲に与える影響 ○中島 紗由理
相田 麻里 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所
坂元 章 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究所
- P07-30 道徳的志向性の検討:
多重応答分析による回答パターンの検討 森尾 博昭 札幌大学経営学部
- P07-31 社会への適応における自己制御過程についての中比較 ○叢 晓波
角野 充奈 広島大学大学院総合科学研究所
浦 光博 広島大学大学院総合科学研究所
広島大学総合科学部
- P07-32 大学生を対象とした沖縄の社会状況の認知に関する研究(3)
—人権不安— ○大城 宜武
與久田 巍 琉球キリスト教学院大学人文学部
立命館大学学生オフィス
中村 完 琉球大学法文学部
- P07-33 分配行動の中米比較(1)
—状況要因の検討— 向田 久美子 駒沢女子短期大学
- P07-34 Self-Construal as a Mediator of the Relationship between the Individualism-Collectivism and Conflict Management Styles ○Aung Moe Tin Tohoku University, Psychology Department
Ken-ichi Ohbuchi Tohoku University, Psychology Department
- P07-35 現代青年がマンガを読む契機、時期、動機に関する日米比較 家島 明彦 島根大学教育開発センター

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表7 (体育館) 15:10~16:40

在席責任時間 奇数番号: 15:10~15:55 偶数番号: 15:55~16:40

- P07-36 加齢と日本人の相互協調的傾向
—帰属判断、感情のバランス、幸福の予測因に注目して— ○菅 知絵美 唐澤 真弓 東京女子大学大学院人間科学研究科
東京女子大学現代文化学部
- P07-37 日本におけるネットワークの同質性:
心理変数を用いた下位文化仮説の検討 石黒 格 弘前大学人文学部
- P07-38 存在脅威管理理論における不安緩衝機能と異文化受容の関係
—文化的自己観による違い— ○向井 有理子 宮崎 弦太 田端 拓哉 池上 知子 大阪市立大学大学院文学研究科
UCRC
大阪市立大学大学院文学研究科・大阪市立大学大学院文学研究科 UCRC・日本学術振興会特別研究員
大阪市立大学大学院文学研究科・大阪市立大学大学院文学研究科 UCRC
大阪市立大学大学院文学研究科
- P07-39 現代大学生の倫理意識研究(1) ○小杉 考司 清水 裕士 山口大学教育学部
日本学術振興会特別研究員・関西学院大学社会学部
- P07-40 ALS サイエンスカフェの場の分析 ○日高 友郎 サトウ タツヤ 立命館大学大学院文学研究科
立命館大学文学部
- P07-41 日本と中国の大学生の比較を通して見た内集団効果 坂西 友秀 埼玉大学教育学部
- P07-42 日系ブラジル人学校の現状と課題
—エスコーラ・モモタロウ・オカヤマの挑戦— 横木 章子 岡山県立大学保健福祉学部
- P07-43 短期留学生のホスト国と母国に対する行動意思
—行動意思および志向型の変化— ○小島 奈々恵 深田 博己 広島大学大学院教育学研究科
広島大学大学院教育学研究科
- P07-44 異文化間ソーシャルスキル学習の長期的効果
—在日留学生における一年後のフォローアップ— 田中 共子 岡山大学大学院社会文化科学研究科

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表7 (体育館) 15:10~16:40

在席責任時間 奇数番号: 15:10~15:55 偶数番号: 15:55~16:40

- P07-45 素朴な信仰心に関する基礎的研究(1) 具志堅 伸隆 東亜大学人間科学部
- P07-46 日本人のゆるし(forgiveness)概念の検討
—文化的自己観、集団主義、宗教観との関係性— ○上田 光世 岩手県立大学大学院社会福祉学研究科
潮村 公弘 岩手県立大学社会福祉学部
- P07-47 男女平等の判断基準の観点からみた大学生における
社会と自己に対する男女平等評価 ○宇井 美代子 東京福祉大学心理学部
松井 豊 筑波大学大学院人間総合科学研究科
- P07-48 大学生における性役割パーソナリティと支配・被支
配行為の関係性の検討 清田 尚行 東洋大学大学院社会学研究科
- P07-49 社会環境が社会化に及ぼす影響(1)
—地域間階層的データによる社会的情報処理への
影響比較— ○吉澤 寛之 岐阜聖徳学園大学教育学部
中島 誠 三重大学共通教育センター
吉田 琢哉 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
尾関 美喜 日本学術振興会特別研究員・名古
原田 知佳 屋大学大学院教育発達科学研究科
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
- P07-50 社会環境が社会化に及ぼす影響(2)
—集合的有能感と地域住民への接触頻度の関連
性— ○吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
吉澤 寛之 岐阜聖徳学園大学教育学部
中島 誠 三重大学共通教育センター
吉田 琢哉 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科
尾関 美喜 日本学術振興会特別研究員・名古
原田 知佳 屋大学大学院教育発達科学研究科
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研
究科・日本学術振興会特別研究員

ポスター発表 第3日 10月12日(月)

ポスター発表7 (体育館) 15:10~16:40

在席責任時間 奇数番号: 15:10~15:55 偶数番号: 15:55~16:40

- P07-51 社会環境が社会化に及ぼす影響(3)
—住民同士の相互作用と地域への愛着が向社会的行動に及ぼす影響—
- 尾関 美喜 日本学術振興会特別研究員・名古屋大学大学院教育発達科学研究科
吉澤 寛之 岐阜聖徳学園大学教育学部
中島 誠 三重大学共通教育センター
吉田 琢哉 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
原田 知佳 名古屋大学大学院教育発達科学研究科・日本学術振興会特別研究員
吉田 俊和 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

- P07-52 家事と仕事役割分担における手続き的公正 滑田 明暢 立命館大学大学院文学研究科

- P07-53 平和イメージ尺度の作成(1) 野中 陽一朗 広島大学大学院教育学研究科

- P07-54 平和イメージ尺度の作成(2) 野中 陽一朗 広島大学大学院教育学研究科

- P07-55 “少女”のような人とは ○永田 麻里子 共立女子短期大学
児玉 好信 共立女子短期大学

日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第 56 回大会
合同大会 賛助団体 御芳名

＜協賛＞

(株)原子力安全システム研究所
P&G デザインセンター合同会社

＜広告＞

(株)風間書房
(株)北大路書房
(株)サン・エデュケーションナル
(株)実務教育出版
(株)誠信書房
(株)ナカニシヤ出版
日本事務光機(株)
ブレーン出版(株)
(株)北樹出版
丸善(株)
(株)有斐閣

＜展示＞

(株)北大路書房
(株)クロス・マーケティング
東京大学出版会
(株)ナカニシヤ出版
ブレーン出版(株)
Wiley-Blackwell

(五十音順)

大会を開催するにあたり、上記各企業より多大なご支援をいただきました。
ここにその御芳名を記して、心から感謝の意を表します。

2009 年 9 月

日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第 56 回大会
合同大会 準備委員会
委員長 大坊 郁夫
事務局長 釘原 直樹

日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第 56 回大会
合同大会 準備委員会

委 員 長 大坊 郁夫 (大阪大学)

事務局代表 釘原 直樹 (大阪大学)

運 営 委 員

渥美 公秀 (大阪大学)
石盛 真徳 (京都光華女子大学)
磯 友輝子 (東京未来大学)
金政 祐司 (大阪人間科学大学)
上出 寛子 (大阪大学)
木村 昌紀 (神戸学院大学)
後藤 学 (原子力安全システム研究所)
小林 知博 (神戸女学院大学)
清水 裕士 (日本学術振興会・関西学院大学)
谷口 淳一 (帝塚山大学)
中原 純 (大阪大学)
中谷 素之 (大阪大学)
平井 啓 (大阪大学)
松田 昌史 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
松村 憲一 (武庫川女子大学短期大学部)
松本 友一郎 (大阪大学)
三浦 麻子 (関西学院大学)
村上 幸史 (神戸山手大学)
毛 新華 (大阪大学)

(五十音順)

日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第 56 回大会
合同大会 プログラム

発行日 2009 年 9 月

発行者 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2
大阪大学大学院人間科学研究科対人社会心理学研究室内
日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミックス
学会第 56 回大会 合同大会 準備委員会